

窓	担当部署	外部連携研究センター	担当者	澤井二三夫
口	TEL	0748223388	Email:	ex-link@newton.ac.jp
産運HP				
シーズDB				

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 25 人  
実用化数 0 件

産学連携担当部署

実務担当者 2 名  
実務者あたり研究者数 13 名  
専門性を有する者の配置  
弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

URA

実務担当者 0 名  
URAあたり研究者数 名

コーディネーター(CDN)

実務担当者 0 名  
CDNあたり研究者数 名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携業務分担

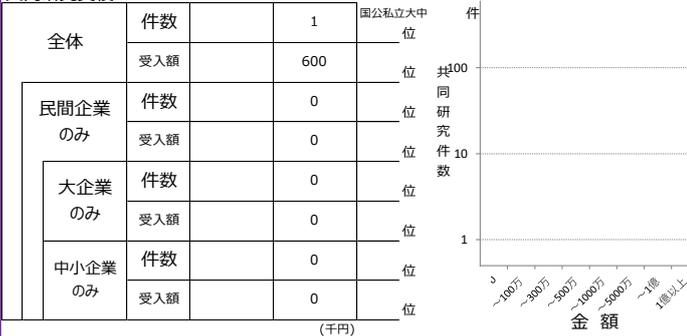
産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案			

URA職務従事状況		名
プレアワード	0	
及び研究戦略推進支援	0	名
及びポストアワード	0	名
及び研究戦略推進支援	0	名
ポストアワード	0	名
及び研究戦略推進支援	0	名
研究戦略推進支援	0	名

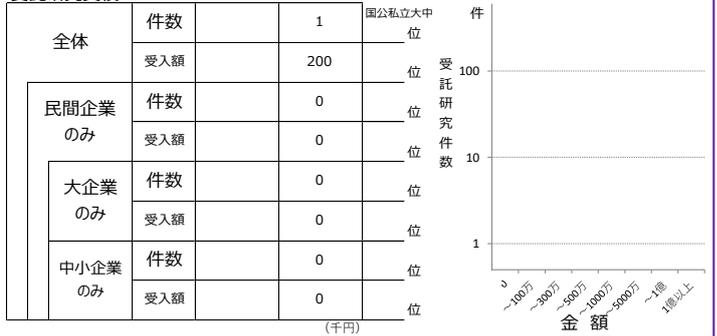
コーディネータ職務従事状況

知財創生 (発明相談、特許出願等)
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)

共同研究実績



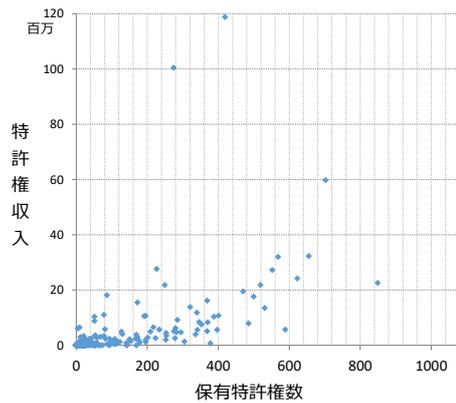
受託研究実績



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	研究者あたり件数
特許保有件数	

特許権実施等件数	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	0
2016年度に有償契約した権利	0
特許権実施等収入 (千円)	



本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間 3ヶ月

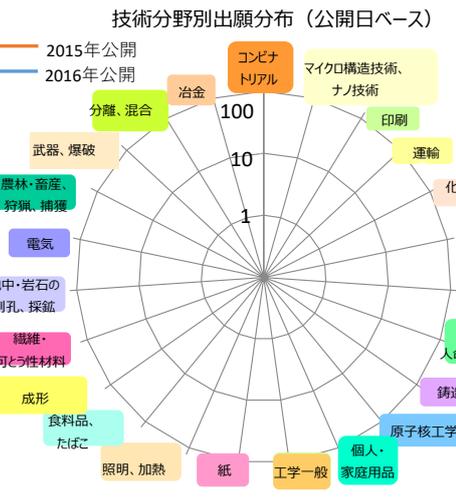
分野横断型 共同研究 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数	0	件
うち共同研究した企業	0	件
産学連携本部が関与した共同研究	0	件
マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

特許出願に関する発明のもととなった研究				
共同研究	受託研究	補助金	寄附金	
件数	0	0	0	0

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合  割合は定めていない
	件数	金額(千円)					
	5	3,250	600	200			

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クローブ実績		クローブ規定	
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
						企業			
大学発 ベンチャー数	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ		派遣	大学	企業とのクローブ
0 社	相談窓口	設立ポリシー、 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド		人事評価等への反映	企業	可能	不可
	有り 無し	有り 無し	有り 無し	有り 円 無し		インセンティブ設計無し			

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	教育研究推進センター	担当者	松本 正光
口	TEL	0489748811	Email:	kyoken-center_j@stf.bunkyo.ac.jp
産連HP				
シーズDB	<a href="http://gakujyo.bunkyo.ac.jp/scripts/websearch/index.htm">http://gakujyo.bunkyo.ac.jp/scripts/websearch/index.htm</a>			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 \_\_\_\_\_ 人  
 実用化数 \_\_\_\_\_ 0 \_\_\_\_\_ 件

産学連携担当部署  
 実務担当者 3 名  
 実務者あたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名  
 専門性を有する者の配置  
 弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

URA  
 実務担当者 \_\_\_\_\_ 名  
 URAあたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

コーディネーター(CDN)  
 実務担当者 \_\_\_\_\_ 名  
 CDNあたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案			

URA職務従事状況	
プレアワード	_____ 名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
及びポストアワード	_____ 名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
ポストアワード	_____ 名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
研究戦略推進支援	_____ 名

コーディネータ職務従事状況	
知財衛生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名

共同研究実績

全体	件数	2015年度	2016年度	国公立大中位
		受入額	350	
民間企業のみ	件数	4	1	位
	受入額	350	0	位
大企業のみ	件数	3	1	位
	受入額	0	0	位
中小企業のみ	件数	1	0	位
	受入額	350	0	位

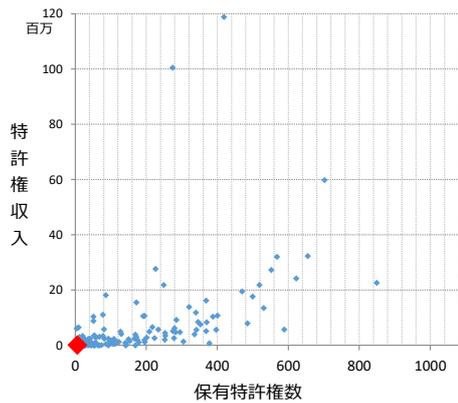
受託研究実績

全体	件数	2015年度	2016年度	国公立大中位
		受入額		
民間企業のみ	件数		0	位
	受入額		0	位
大企業のみ	件数		0	位
	受入額		0	位
中小企業のみ	件数		0	位
	受入額		0	位

2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	0	研究者あたり件数
特許保有件数	6	

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	

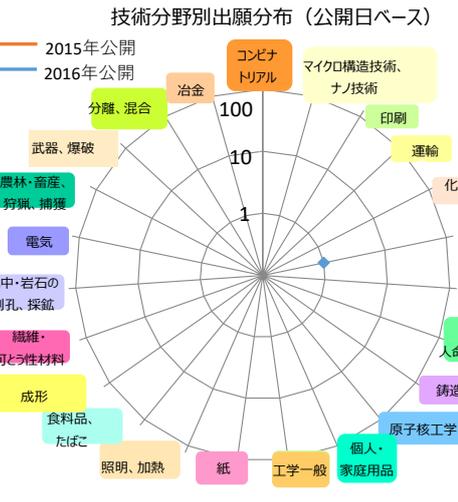


本格的な共同研究  
 平均(目安)交渉期間 \_\_\_\_\_ 件  
 分野横断型共同研究 \_\_\_\_\_ 件  
 大学役員等と定期的に見え交換する企業数 \_\_\_\_\_ 件  
 うち共同研究した企業 \_\_\_\_\_ 件  
 産学連携本部が関与した共同研究 \_\_\_\_\_ 件  
 マッチングを行い、契約締結した件数 \_\_\_\_\_ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究				
共同研究	受託研究	補助金	寄附金	件数

総出願数に対する割合	
受入額比	_____ 千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数
1	G06	計算、計数	1



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	55	39,646	0	1,399			

職務発明の帰属	
大学	発明者

不実施補償の扱い			
契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他

クローバ実績		クローバ規定	
受入	大学	有り	無し
	企業		
派遣	大学		
	企業	可能	不可

大学発 ベンチャー数 社	ベンチャー支援体制								産学連携へのインセンティブ	
	相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド		人事評価等への反映	
	有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し	インセンティブ設計無し	

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓 口	担当部署	中国学園エクステンションセンター	担当者	森脇 晃義
TEL	0862930934	Email:	renkei@cjc.ac.jp	
産連HP				
シーズDB				

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針  
産学官連携活動を発展させる。

産学官連携活動について今後重点化したい事項  
本学の教育・研究と合致する分野での活動を重点化した。

研究者数 \_\_\_\_\_ 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

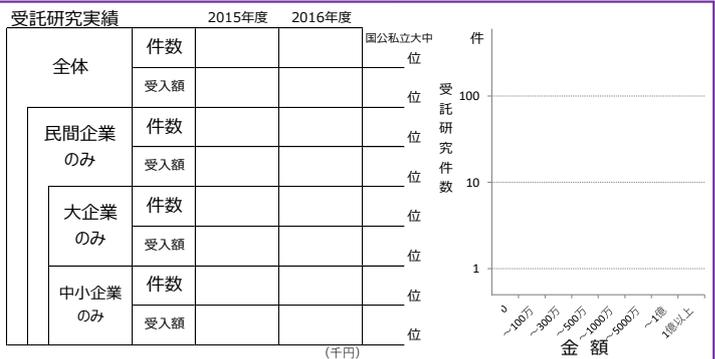
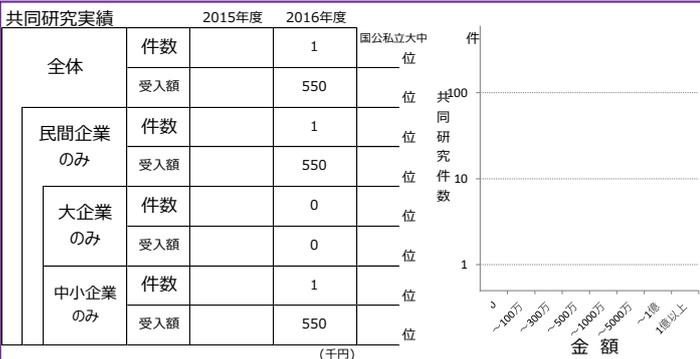
産学連携担当部署		
実務担当者	実務者あたり研究者数	専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他
産学連携業務分担		
共同研究等の企画・提案	産連本部	他部署
契約書での成果目標、達成時の明記		
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)		
共同研究の進捗管理とフィードバック		
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案		

URA	
実務担当者	URAあたり研究者数
URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネーター(CDN)	
実務担当者	CDNあたり研究者数
コーディネーター職務従事状況	
知財創生 (発明相談、特許出願等)	名
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	名
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	名
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	名
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	名
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	名

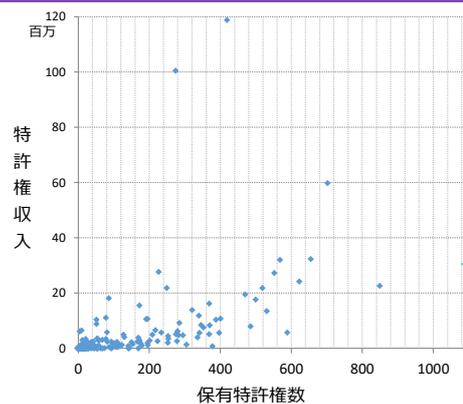
各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	研究者あたり件数
特許保有件数	
特許権実施等件数	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	
2016年度に有償契約した権利	
特許権実施等収入 (千円)	



本格的な共同研究	平均(目安)交渉期間	分野横断型共同研究	_____ 件
大学役員等と定期的に見え交換する企業数		うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究		マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

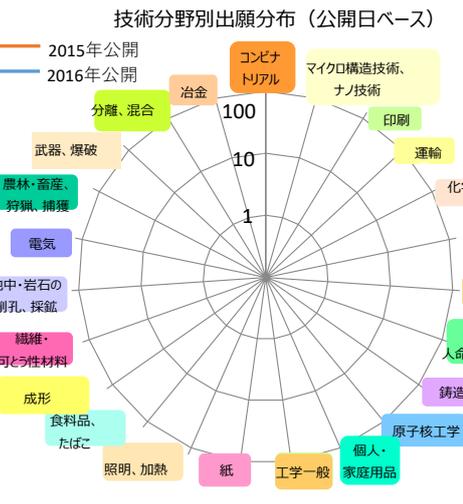
特許出願に関する発明のもととなった研究

	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	0	0	0	0

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

コンピナトリアル	マイクロ構造技術、ナノ技術
印刷	運輸
化学	器械
健康・人命救助・娯楽	機関、ポンプ
原子核工学	健康・人命救助・娯楽
個人・家庭用品	健康・人命救助・娯楽
紙	健康・人命救助・娯楽
照明、加熱	健康・人命救助・娯楽
工学一般	健康・人命救助・娯楽
成形	健康・人命救助・娯楽
繊維・可とう性材料	健康・人命救助・娯楽
地中・岩石の開孔、探鉱	健康・人命救助・娯楽
電気	健康・人命救助・娯楽
武器、爆破	健康・人命救助・娯楽
農林・畜産、狩猟、捕獲	健康・人命救助・娯楽

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	8	4,888					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	知的財産推進センター	担当者	富永 智史
TEL	0422314151	Email:	st@nvl.u.ac.jp	
産連HP	<a href="https://www.nms.ac.jp/tlo/">https://www.nms.ac.jp/tlo/</a>			
シーズDB				

## 大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

## 産学官連携活動について今後重点化したい事項

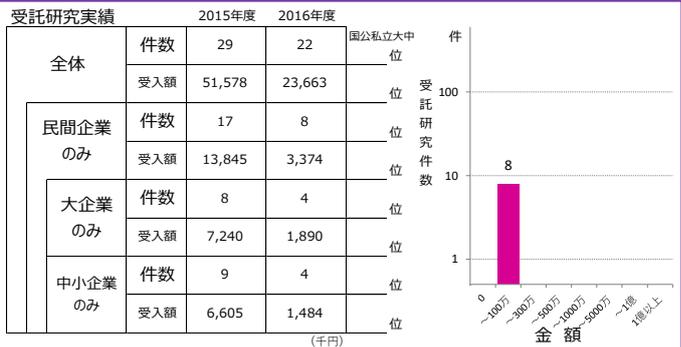
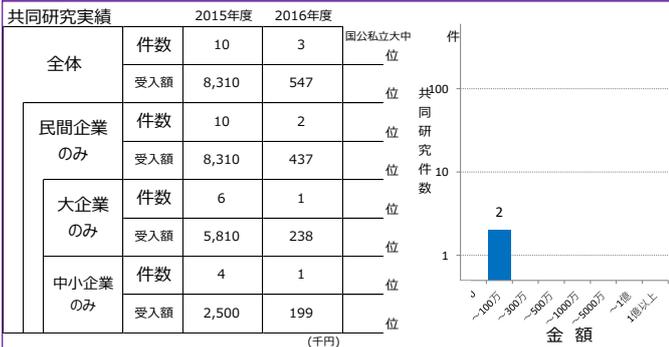
研究者数 130 人  
実用化数 1 件

産学連携担当部署	実務担当者	5 名	実務者あたり研究者数	26 名	専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士 公認会計士   その他
産学連携業務分担	担当部署等	産連本部	他部署	外部委託	
共同研究等の企画・提案					
契約書での成果目標・達成時の明記					
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)					
共同研究の進捗管理とフィードバック					
企業ニーズに適應した 技術移転・事業化提案					

URA	実務担当者	名	URAあたり研究者数	名
URA職務従事状況	プレアワード	名		
	及び研究戦略推進支援	名		
	及びポストアワード	名		
	及び研究戦略推進支援	名		
	ポストアワード	名		
	及び研究戦略推進支援	名		
	研究戦略推進支援	名		

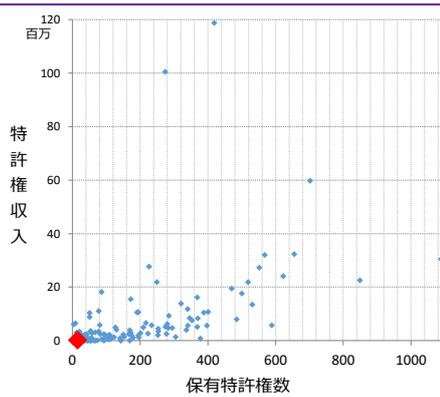
コーディネーター(CDN)	実務担当者	2 名	CDNあたり研究者数	65 名
コーディネータ職務従事状況	知財副生 (発明相談、特許出願等)			
	研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)			
	シーズPR (イベント出席、企業訪問等)			
	技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)			
	ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)			
	事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)			

各種規程類の整備状況	
産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱等規程、ポリシー	



## 2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	2	研究者あたり件数	0.015
特許保有件数	16		0.123
特許権実施等件数	1	実施等件数あたり	1.0
2016年度に収入のあった権利	1		1.0
2016年度に有償契約した権利	0		0.0
特許権実施等収入 (千円)	162		162.0

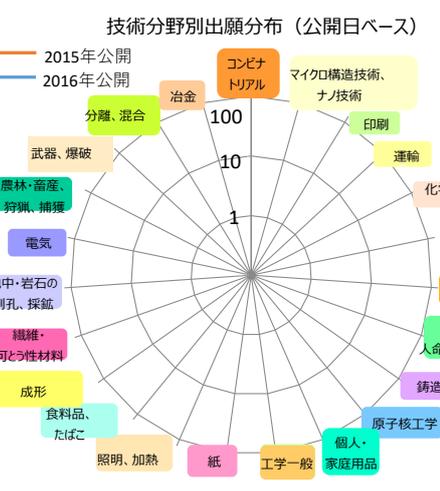


本格的な共同研究	平均(目安)交渉期間	3ヶ月	分野横断型共同研究	件
	大学役員等と定期的 に意見交換する企業数			件
	うち共同研究した企業			件
	産学連携本部が関与した共同研究	23		件
	マッチングを行い、契約締結した件数	23		件

特許出願に関する発明のもととなった研究				
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	0	1	0	0

総出願数に対する割合	0	0.5	0	0
受入額比		23,663		千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	41	62,401	22,816	41,140			10%以上15%未満

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クロアボ実績	クロアボ規定		
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他		受入	大学	有り
大学発 ベンチャー数	0	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ		企業とのクロアボ	
社		相談窓口	設立ポリシー 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド	人事評価等への反映	大学	可能	不可
		有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し	インセンティブ設計無し	
							派遣	企業	

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

二酸化炭素マイクロバブル技術を用いた清酒の開発							
本件連絡先							
機関名	日本獣医生命科学大学	部署名	大学院課	TEL	0422-31-4151	E-mail	kts@nvlu.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>清酒は、低温殺菌することによって、酵素や酵母を失活させ、保存性を高める。しかし、どんなに注意深く低温殺菌を施しても、熱を加えることによる酒質の変化は避けることができなかった。</p> <p>・成果</p> <p>二酸化炭素をマイクロバブル化して清酒に加えることによって、熱を極力加えずに短時間で、殺菌・酵素失活することが可能になった。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>共同研究先企業から、人間の体温付近に清酒の品質を悪くする温度帯があることを教わったことがヒントになった。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>他大学が現在の共同研究先企業と二酸化炭素マイクロバブルを利用した殺菌・酵素失活に関する研究を行っていたが、当該大学での研究継続が困難になり、本学が引き継いだ。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>本学がこの成果に係る知的財産の出願手続き、登録までの諸手続を行った。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>これまでも、二酸化炭素を利用した殺菌・酵素失活は世界中で研究されていたが、実用化されていなかった。この成果は、二酸化炭素を利用した殺菌・酵素失活による世界初の製品化である。</p>				 <p>獣医大HP 食のいま 第63号より http://www.nvlu.ac.jp /food/blog/blog-063.html/</p> <p>・ファンディング、表彰等 ・参考URL</p>			



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	学事部	担当者
TEL	0249328931	Email:	gakuji@ohu-u.ac.jp
産連HP			
シーズDB			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 185 人  
実用化数 0 件

産学連携担当部署  
実務担当者 0 名  
実務者あたり研究者数  
専門性を有する者の配置  
弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

URA  
実務担当者 0 名  
URAあたり研究者数

コーディネーター(CDN)  
実務担当者 名  
CDNあたり研究者数

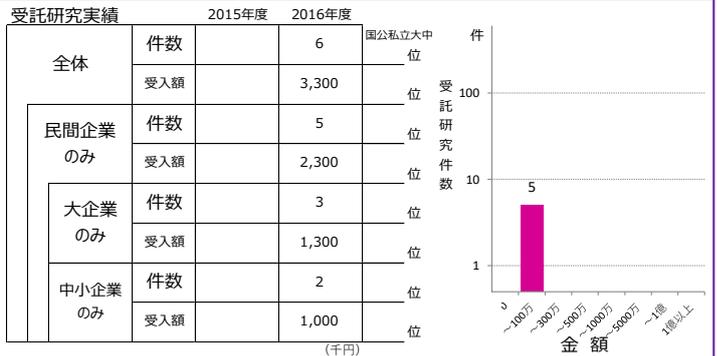
各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案			

URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

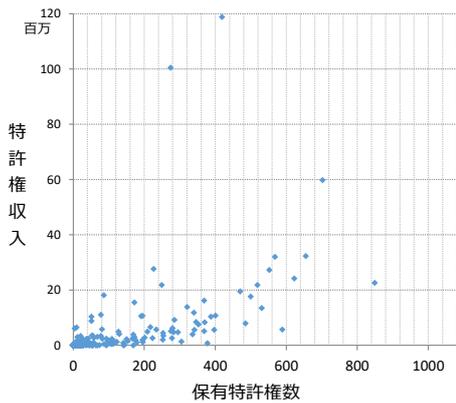
コーディネーター職務従事状況	
知財衛生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	研究者あたり件数
特許保有件数	

特許権実施等件数	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	
2016年度に有償契約した権利	
特許権実施等収入 (千円)	



本格的な共同研究  
平均(目安) 交渉期間 6ヶ月  
分野横断型 共同研究 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数	件
うち共同研究した企業	件
産学連携本部が関与した共同研究	件
マッチングを行い、契約締結した件数	件

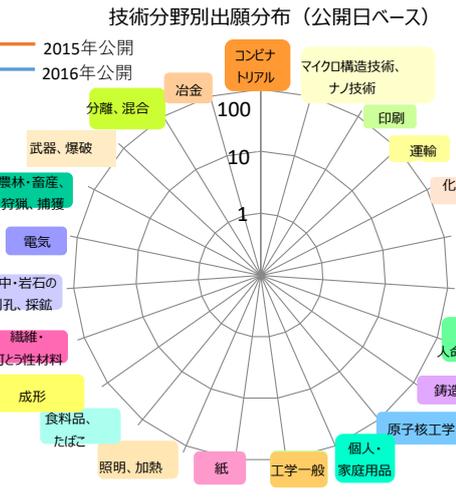
特許出願に関する発明のもととなった研究

件数	共同研究			
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
(参考値)				

総出願数に対する割合	千円/件
受入額比	

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
							10%以上15%未満

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クローバ実績		クローバ規定	
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
						企業			

大学発 ベンチャー数 社	ベンチャー支援体制						産学連携へのインセンティブ		派遣	大学	企業	企業とのクローバ 可能 不可
	相談窓口	設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド		人事評価等への反映				
	有り	無し	有り	無し	有り	件	無し	有り	円	無し		
								インセンティブ設計無し				

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シーズDB		

## 大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

## 産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 \_\_\_\_\_ 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

### 産学連携担当部署

実務担当者 名 \_\_\_\_\_

実務者あたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

専門性を有する者の配置  
 弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

### 産学連携業務分担

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案			

### URA

実務担当者 名 \_\_\_\_\_

URAあたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

URA職務従事状況

プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
及びポストアワード	_____ 名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
研究戦略推進支援	_____ 名

### コーディネーター(CDN)

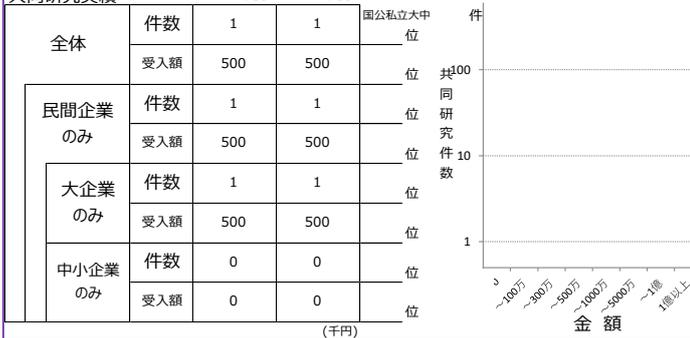
実務担当者 名 \_\_\_\_\_

CDNあたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

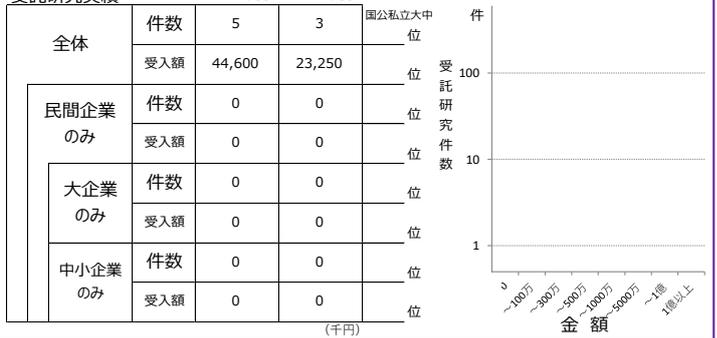
### コーディネータ職務従事状況

知財衛生 (発明相談、特許出願等)
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)

### 共同研究実績



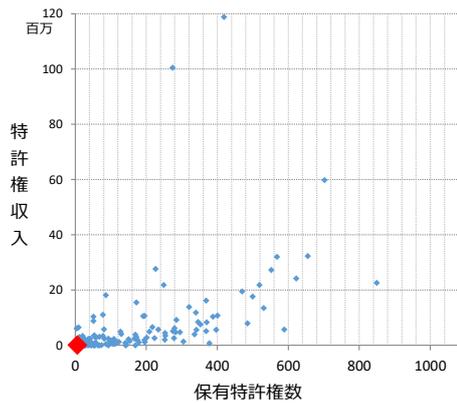
### 受託研究実績



### 2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	0	研究者あたり件数
特許保有件数	6	

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	



本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間 \_\_\_\_\_ 件

分野横断型共同研究 \_\_\_\_\_ 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数 \_\_\_\_\_ 件

うち共同研究した企業 \_\_\_\_\_ 件

産学連携本部が関与した共同研究 \_\_\_\_\_ 件

マッチングを行い、契約締結した件数 \_\_\_\_\_ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究

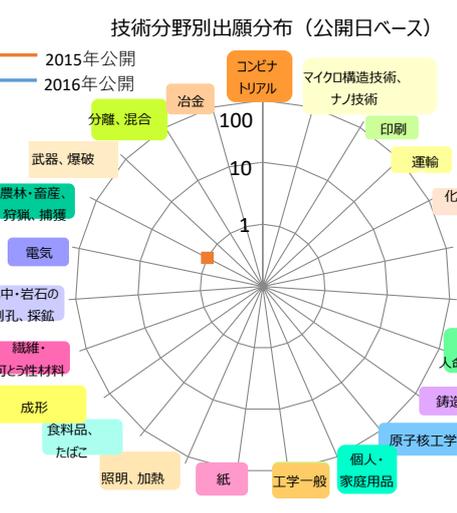
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
_____	_____	_____	_____

(参考値)

総出願数に対する割合	_____
受入額比	_____ 千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	5	1,729		500			

職務発明の帰属	
大学	発明者

不実施補償の扱い			
契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他

クローバ実績		クローバ規定	
受入	大学	有り	無し
	企業		
派遣	大学	可能	不可
	企業		

大学発 ベンチャー数 社	ベンチャー支援体制								産学連携へのインセンティブ	
	相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド		人事評価等への反映	
	有り	無し	有り	無し	有り	件	無し	有り	円	無し

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	総務部 地域連携課	担当者
口	TEL	0792236593	Email: chiiki@gm.himeji-du.ac.jp
産連HP			
シーズDB			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 182 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

産学連携担当部署

実務担当者	実務者あたり研究者数	専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他
産学連携業務分担	担当部署等 産連本部   他部署   外部委託	
共同研究等の企画・提案		
契約書での成果目標、達成時の明記		
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)		
共同研究の進捗管理とフィードバック		
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案		

URA

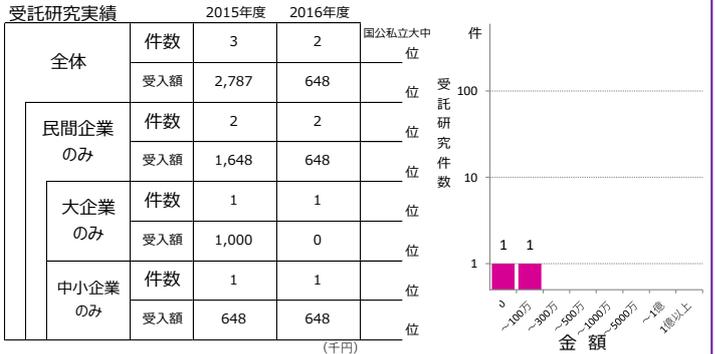
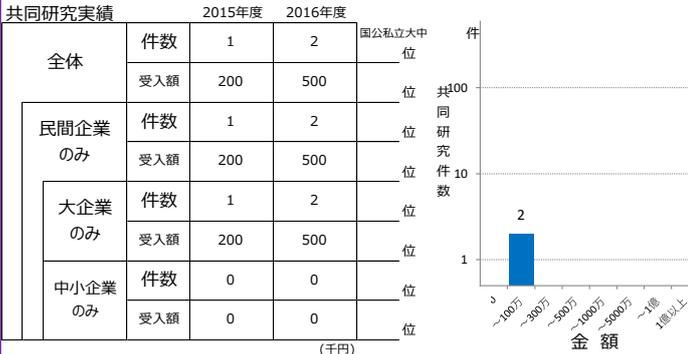
実務担当者	URAあたり研究者数
URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネーター(CDN)

実務担当者	CDNあたり研究者数
コーディネーター職務従事状況	
知財創生 (発明相談、特許出願等)	名
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	名
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	名
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	名
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	名
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	名

各種規程類の整備状況

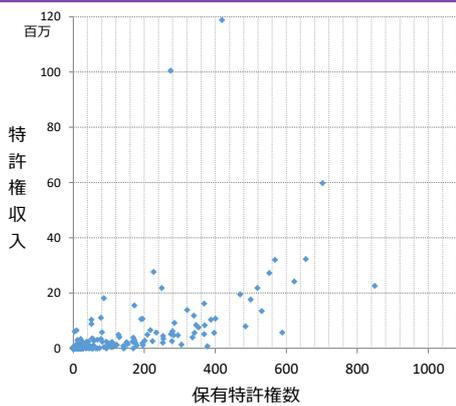
産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱等規程、ポリシー	



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	研究者あたり件数
特許保有件数	

特許権実施等件数	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	
2016年度に有償契約した権利	
特許権実施等収入 (千円)	



本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間	
分野横断型共同研究	件
大学役員等と定期的に見え交換する企業数	件
うち共同研究した企業	件
産学連携本部が関与した共同研究	件
マッチングを行い、契約締結した件数	件

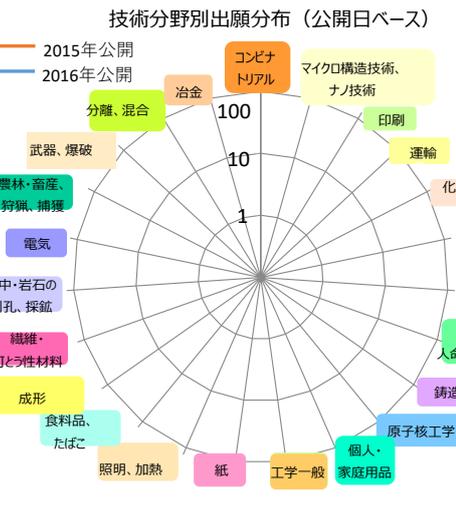
特許出願に関する発明のもととなった研究

件数	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
(参考値)				

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	14	18,056					10%以上15%未満

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	1	1,690		4,000			10%以上15%未満

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
----	----

大学発  
ベンチャー数  
0 社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

企業とのクローブ

可能	不可
----	----

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

# 私立 人間総合科学大学

窓	担当部署	地域産学連携センター	担当者	
TEL		Email:		
産連HP				
シーズDB				

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

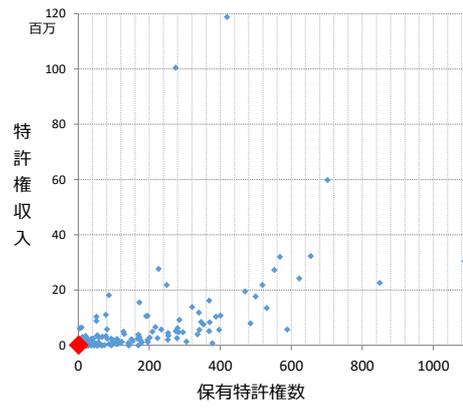
産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 _____ 人</p> <p>実用化数 _____ 件</p>	<p>産学連携担当部署</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>実務者あたり研究者数 _____ 名</p> <p>専門性を有する者の配置  <small>弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他</small></p>	<p>URA</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>URAあたり研究者数 _____ 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">プレアワード</th></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及びポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><th colspan="2">ポストアワード</th></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	プレアワード		及び研究戦略推進支援	_____ 名	及びポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	ポストアワード		及び研究戦略推進支援	_____ 名	研究戦略推進支援	_____ 名	<p>コーディネーター(CDN)</p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>CDNあたり研究者数 _____ 名</p> <p>コーディネーター職務従事状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">知財創生 (発明相談、特許出願等)</th></tr> <tr><td>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	知財創生 (発明相談、特許出願等)		研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名	シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名	技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名	ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名	事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名
プレアワード																													
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
及びポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
ポストアワード																													
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
研究戦略推進支援	_____ 名																												
知財創生 (発明相談、特許出願等)																													
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名																												
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名																												
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名																												
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名																												
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名																												
<p>各種規程類の整備状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>産学連携ポリシー</td><td></td></tr> <tr><td>知的財産ポリシー</td><td></td></tr> <tr><td>共同研究取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>受託研究取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>研究成果有体物取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>職務発明規程 (教職員のみ対象)</td><td></td></tr> <tr><td>発明補償関係規程 (教職員、学生)</td><td></td></tr> <tr><td>守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)</td><td></td></tr> <tr><td>守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)</td><td></td></tr> <tr><td>営業秘密管理に関する規程</td><td></td></tr> <tr><td>株式の取扱規程、ポリシー</td><td></td></tr> </table>				産学連携ポリシー		知的財産ポリシー		共同研究取扱規程		受託研究取扱規程		研究成果有体物取扱規程		職務発明規程 (教職員のみ対象)		発明補償関係規程 (教職員、学生)		守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)		守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)		営業秘密管理に関する規程		株式の取扱規程、ポリシー					
産学連携ポリシー																													
知的財産ポリシー																													
共同研究取扱規程																													
受託研究取扱規程																													
研究成果有体物取扱規程																													
職務発明規程 (教職員のみ対象)																													
発明補償関係規程 (教職員、学生)																													
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)																													
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)																													
営業秘密管理に関する規程																													
株式の取扱規程、ポリシー																													
<p>産学連携業務分担</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">担当部署等</th></tr> <tr><th>産連本部</th><th>他部署</th><th>外部委託</th></tr> <tr><td>共同研究等の企画・提案</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>契約書での成果目標、達成時の明記</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>共同研究の進捗管理とフィードバック</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案</td><td></td><td></td></tr> </table>				担当部署等		産連本部	他部署	外部委託	共同研究等の企画・提案			契約書での成果目標、達成時の明記			共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			共同研究の進捗管理とフィードバック			企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案								
担当部署等																													
産連本部	他部署	外部委託																											
共同研究等の企画・提案																													
契約書での成果目標、達成時の明記																													
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)																													
共同研究の進捗管理とフィードバック																													
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案																													



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	0	研究者あたり件数
特許保有件数	1	
特許権実施等件数	1	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	0.0



本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間 \_\_\_\_\_ 件

分野横断型共同研究 \_\_\_\_\_ 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究

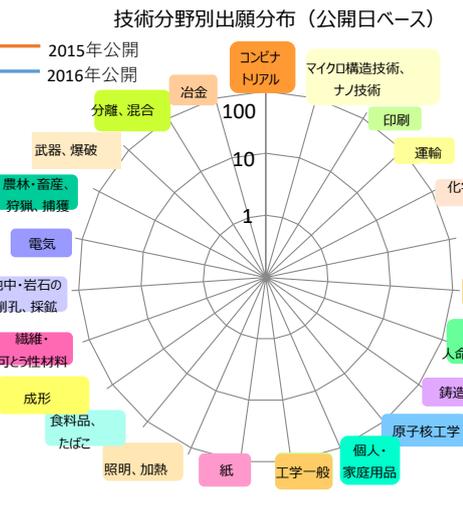
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	0	0	0	0

(参考値)

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
							10%以上15%未満

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローバ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローバ規定

有り	無し
企業とのクローバ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
0 社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者
TEL	0762296007	Email: hu-kenkyu@hokuriku-u.ac.jp
産運HP		
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 122 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

産学連携担当部署

実務担当者 名  
 実務者あたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名  
 専門性を有する者の配置  
 弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

URA

実務担当者 0 名  
 URAあたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

コーディネーター(CDN)

実務担当者 0 名  
 CDNあたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携業務分担

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案			

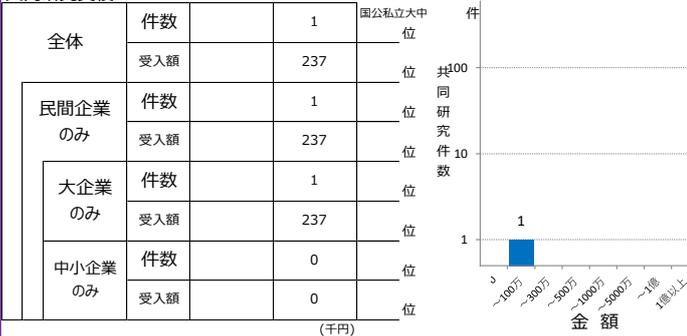
URA職務従事状況

プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

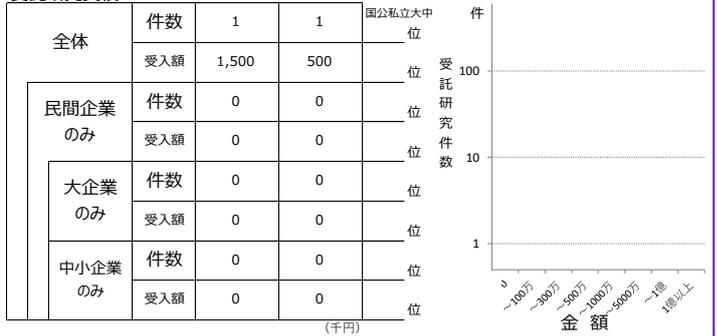
コーディネーター職務従事状況

知財衛生 (発明相談、特許出願等)	名
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	名
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	名
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	名
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	名
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	名

共同研究実績



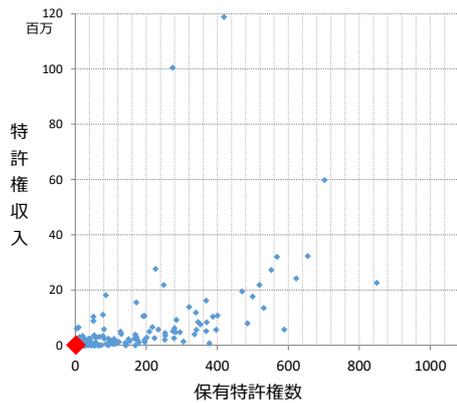
受託研究実績



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	0	研究者あたり件数 0.000
特許保有件数	2	0.016

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	



本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間 \_\_\_\_\_ 件

分野横断型 共同研究 \_\_\_\_\_ 件

大学役員等と定期的に見え交換する企業数 \_\_\_\_\_ 件

うち共同研究した企業 \_\_\_\_\_ 件

産学連携本部が関与した共同研究 \_\_\_\_\_ 件

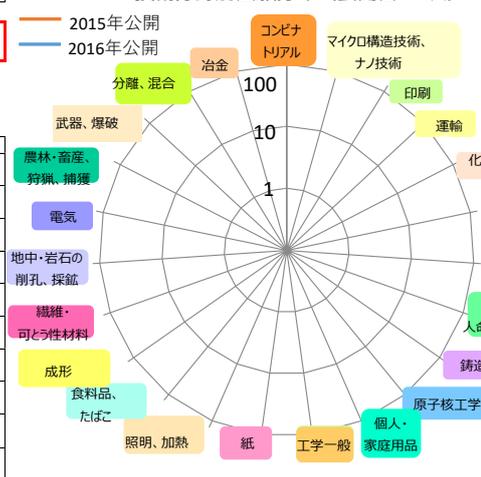
マッチングを行い、契約締結した件数 \_\_\_\_\_ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究				
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	0	0	0	0

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

順位	IPC	分野	件数

技術分野別出願分布 (公開日ベース)



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	17	17,251		6,760			10%以上15%未満

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
----	----

大学発  
ベンチャー数  
1 社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

企業とのクローブ

可能	不可
----	----

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	事務局総務課	担当者	山野正敏
TEL	0561751735	Email:	ga-nuas_gr@nuas.ac.jp	
産連HP				
シースDB				

## 大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

## 産学官連携活動について今後重点化したい事項

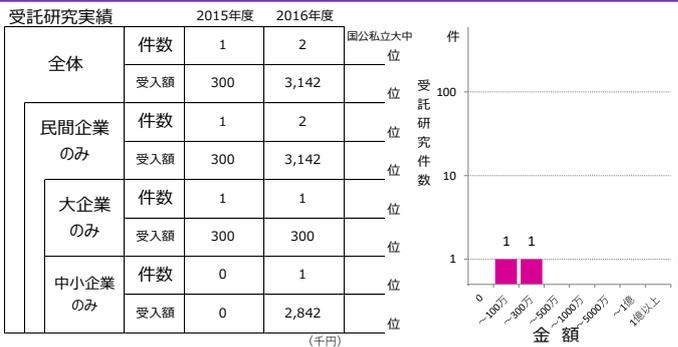
研究者数 99 人  
実用化数 2 件

産学連携担当部署	
実務担当者	実務者あたり研究者数 名
専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他	
産学連携業務分担	
共同研究等の企画・提案	担当部署等 産連本部   他部署   外部委託
契約書での成果目標、達成時の明記	
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)	
共同研究の進捗管理とフィードバック	
企業ニーズに適應した技術移転・事業化提案	

URA	
実務担当者	URAあたり研究者数 名
URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネーター(CDN)	
実務担当者	CDNあたり研究者数 名
コーディネータ職務従事状況	
知財副生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シースPR (イベント出席、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	

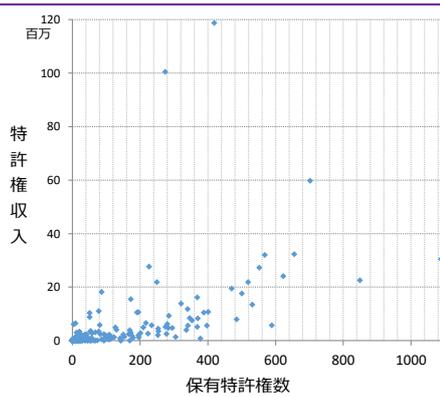
各種規程類の整備状況	
産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱等規程、ポリシー	



## 2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	研究者あたり件数
特許保有件数	

特許権実施等件数	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	
2016年度に有償契約した権利	
特許権実施等収入 (千円)	

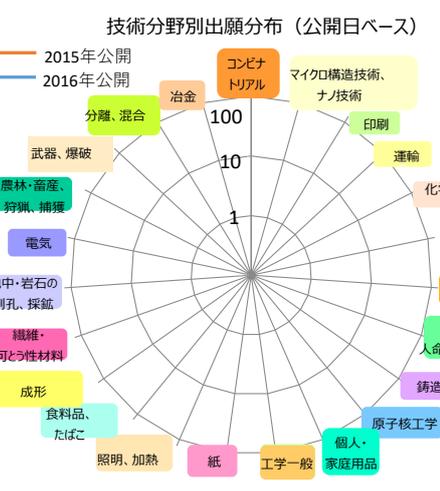


平均(目安)交渉期間	3ヶ月
分野横断型共同研究	件
大学役員等と定期的意見交換する企業数	件
うち共同研究した企業	件
産学連携本部が関与した共同研究	0 件
マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

特許出願に関する発明のもととなった研究			
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数			

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	7	18,070	7,300	4,183			10%以上15%未満

職務発明の所属		不実施補償の扱い				クオアポ実績		クオアポ規定	
大学	発明者	契約離形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
						企業			
大学発 ベンチャー数	ベンチャー数	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ		企業とのクオアポ	
		相談窓口	設立推進 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド	人事評価等への反映	派遣	大学	可能
		有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し	企業	不可

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

新しいカレーうどんの開発							
本件連絡先							
機関名	名古屋学芸大学	部署名	事務局総務課	TEL	0561-75-7111	E-mail	ga-nuas_gr@nuas.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>若年女性は、ダイエットには大いに興味があるが、食や食生活の大切さおよび食品が持つ機能性については、あまり関心がない。食品の機能性の観点からどのような食事を選択すべきかを理解すべきである。</p> <p>・成果</p> <p>食品の機能性を生かしたメニューを考案し、若狭屋のほぼ全店舗で販売され、お客様より好評価を頂いた。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>メニュー考案後、3回にわたる試食会を開催し、お客様に好んでもらえるか、もともとのカレーうどんの食感が崩れていないかを検討し、新しい味として認められ、実用化に至った。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>女子学生の立場から、飲食店にあつたら選択し食べたいメニューを開発し、外食および食品会社への就職を希望している学生のよい勉強の機会になることと、企業側にとっても学生からの意見を聞ける良い機会になること。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>企業側が重要視しているカレーうどんの食感を壊さず、学生らしい新しい観点で、食品の機能性を付与したメニュー開発が求められた。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>カレーとトムヤムクンを融合させる発想は新しく、企業側でも販売後、ある程度顧客に喫食して頂けると判断した。</p>				 <p>開発打合せと試食</p>  <p>開発途中のレシピ</p>  <p>商品開発された『トムヤムクン風カレーうどん』</p> <p>・ファンディング、表彰等 ・参考URL <a href="https://www.facebook.com/official.nagoyajc/photos/pcb.1124211400966579/1124211190966600/?type=3">https://www.facebook.com/official.nagoyajc/photos/pcb.1124211400966579/1124211190966600/?type=3</a></p>			

(株)八百彦本店×食育サークル×デザイン学科でデパ地下弁当の開発							
本件連絡先							
機関名	名古屋学芸大学	部署名	事務局総務課	TEL	0561-75-7111	E-mail	ga-nuas_gr@nuas.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>デパ地下で販売されている弁当は、消費者が見渡せる範囲に多種多様なものが並べられる。そのために、メニューのコンセプトがわかり易く、斬新なパッケージデザインの開発が求められる。</p> <p>・成果</p> <p>デパ地下の(株)八百彦本店で毎日2週間販売され、20食程度であったが、午前中に売り切れるほど好評だった。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>名古屋学芸大学と同キャンパス内の名古屋外国語大学のオープンキャンパスで、この企画のお弁当を提供したところ大好評であった。そのメニューを何度も修正し、またパッケージデザインはメニューのコンセプトを表現するために厳選され、商品となった。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>大学のオープンキャンパスで弁当を提供するにあたり、設立は学生サークル(管理栄養士を目指す学生で構成して食育を広めるサークル)が作成し、パッケージデザインはデザイン学科の学生が作成した。この弁当の作成を(株)八百彦本店に依頼した。この弁当の作成を何度も積み重ね、洗練され、デパ地下で販売する弁当に至った。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>パッケージデザインを明確にすることが望まれた。【コンセプト】彩りよい弁当は、見た目だけでなく、様々な食材を使用することで、豊富な栄養素を摂取することができる。【ターゲット】名古屋駅周辺に勤務する若い女性をターゲットとし、女性が目を引くデザインにした。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>女性ターゲットにしたため、お弁当にそのまま入れることができるように縦に重ねるタイプとした。また、そのままミシンに捨てることができる容器をデザインの表紙で巻き込む形を開発した。メニューは豊富な食材の種類を使用し、栄養バランスが良いことも確認されている。</p>				 <p>店頭で販売される弁当ポップのデザインも手掛ける</p>  <p>(株)八百彦本店の店頭だけでも様々な弁当が並ぶ</p>  <p>三段に重ねる縦型タイプ</p> <p>・ファンディング、表彰等 ・参考URL 販売期間に中日新聞で紹介された。本学ホームページで紹介している。 <a href="http://nutrition.nuas.ac.jp/blog/club/canteen/001045.html">http://nutrition.nuas.ac.jp/blog/club/canteen/001045.html</a></p>			

# 私立 中村学園大学

窓口	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シースDB		

## 大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

## 産学官連携活動について今後重点化したい事項

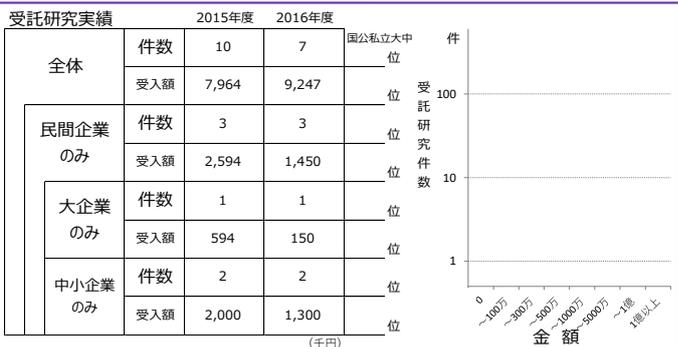
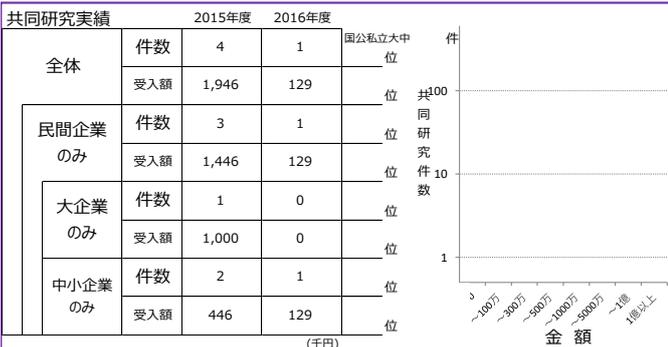
研究者数 \_\_\_\_\_ 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

産学連携担当部署		実務者あたり研究者数 _____ 名	専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他 _____
実務担当者 _____ 名			
産学連携業務分担		担当部署等 産連本部   他部署   外部委託	
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

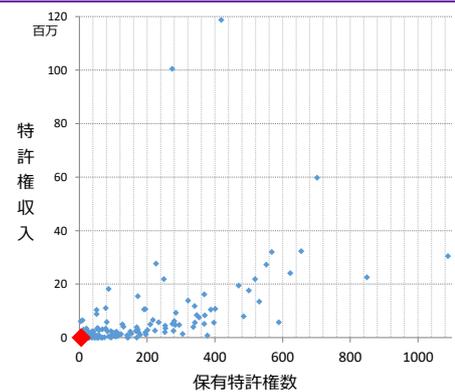
URA		URAあたり研究者数 _____ 名
実務担当者 _____ 名		
URA職務従事状況		
プレアワード		名
及び研究戦略推進支援		名
及びポストアワード		名
及び研究戦略推進支援		名
ポストアワード		名
及び研究戦略推進支援		名
研究戦略推進支援		名

コーディネーター(CDN)		CDNあたり研究者数 _____ 名
実務担当者 _____ 名		
コーディネーター職務従事状況		
知財副生 (発明相談、特許出願等)		
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)		
シースPR (イベント出席、企業訪問等)		
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)		
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)		
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)		

各種規程類の整備状況	
産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱等規程、ポリシー	



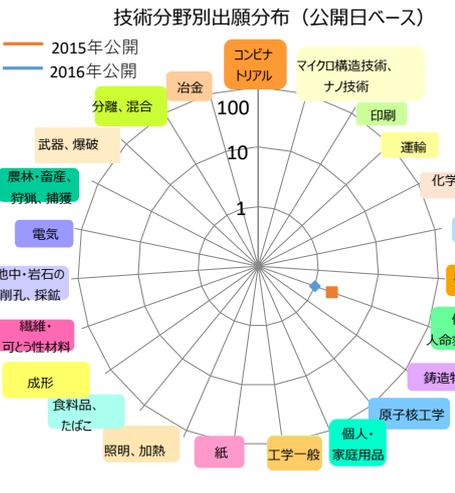
2016年度特許出願・活用実績		研究者あたり件数
特許出願件数	0	
特許保有件数	6	
特許権実施等件数	1	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	0.0



平均(目安)交渉期間	
分野横断型共同研究 _____ 件	
大学役員等と定期的意見交換する企業数 _____ 件	
うち共同研究した企業 _____ 件	
産学連携本部が関与した共同研究マッチングを行い、契約締結した件数 _____ 件	

特許出願に関する発明のもととなった研究			
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数			
(参考値)			
総出願数に対する割合			
受入額比		千円/件	

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	1



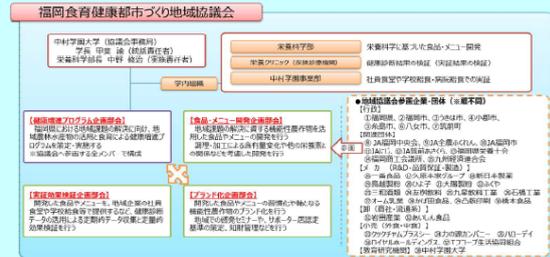
運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
職務発明の帰属	不実施補償の扱い						
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	クオアポ実績	クオアポ規定
大学発 ベンチャー数	ベンチャー支援体制			産学連携へのインセンティブ		クオアポ実績	クオアポ規定
社	相談窓口	設立ボリシー 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド		受入	有り
	有り	無し	有り	無し	有り	企業	無し
			件		円	派遣	企業とのクオアポ
						大学	可能
						企業	不可

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

食の機能性を活用した健康スムージーの開発							
本件連絡先							
機関名	中村学園大学	部署名	産学官連携推進センター	TEL	092-851-2594	E-mail	stg@nakamura-u.ac.jp
概要							
この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題							
医療費等が増大する現代社会にあつては、未病(病気に至る前)の段階で、健康に戻すことが重要であるところ、食の機能性メカニズムなどを活用し、日々の食生活の中で課題を解決していくことが有用である。							
成果							
栄養科学の観点から、食材の機能性を活用した健康スムージーを開発し、商品として上市した。							
実用化まで至ったポイント、要因							
栄養科学の観点から、食材の機能性を組み合わせ、体内での生理活性を明らかにするだけでなく、吸収のしやすさなどシナジー効果を綿密に設計した。							
研究開発のきっかけ							
学生がクラウドファンディングで「甘酒を活用した健康スムージー」の開発に必要な資金調達を行ったところ、当該取組成果が企業の目に触れることとなり、商品化に至った。							
民間企業等から大学等に求められた事項							
栄養科学の観点から、エビデンスベースでの食の機能性についての専門知見。							
技術の新しい点、パフォーマンスの優位性							
食材単品での機能性ではなく、吸収容易性や即効性など、食材が持つ機能性のシナジー効果などといった相互関連性を綿密に設計したところ。							
図・写真・データ							
○現在6種類が販売されている							
							
○もともとはクラウドファンディングで資金調達し、その後企業と1,000万円の共同研究へ発展							
							
・ファンディング、表彰等 ・参考URL 本プロジェクトのスタートラインは学生プロジェクトとして、クラウドファンディングで、最初の資金調達を行った( <a href="http://actnow.jp/project/amazake/detail">http://actnow.jp/project/amazake/detail</a> )当初は5万円の資金からスタートし、最終的には企業との1,000万円の共同研究へと発展した。							

本件連絡先							
機関名	中村学園大学	部署名	産学官連携推進センター	TEL	092-851-2594	E-mail	stg@nakamura-u.ac.jp
組織的産学官連携活動における取組方針等							
・大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針		・産学官連携活動における大学等の得意分野とその具体例(特色ある研究成果(特許等))			・産学官連携活動について今後重点化したい事項		
○地域企業との連携を特に重視し、地域の産業・文化・教育の発展に努めるとのこと。 ○共同研究や技術移転はもちろんで、人材育成を視野に入れた連携を推進するとのこと。		「食」 ・栄養科学(食の機能性等)に係る知見 ・食品加工や製造に係る知見 ・フードマネジメントに係る知見			○「食」という領域において、地域のイノベーションプラットフォームとして機能させること。		

組織的産学官連携活動の取組事例  
「食」に特化した地域産学官の大型プラットフォームの形成

概要		体制図等	
<p>九州における農業産出額は全国の約2割を占めており、それら農産物を活用した食産業について見ると、九州全体の食品製造業出荷額は4兆3263億円(H24)に上る。素材そのもの出荷額にあたる農業産出額が1兆6601億円であることを鑑み、食品加工といった食産業の付加価値が九州経済を牽引する重要な産業であるといえる。</p> <p>このような状況にあつては、特に食の高付加価値化(製造・海外展開等)を担うことのできるイノベーション人材の育成を地域全体で行っていかなくてはならないというニーズが地域から出された。</p> <p>また、地域全体で人材育成を行うためのプラットフォームが形成されたことで、当該プラットフォームを活かして、新たな食品・メニュー開発を行うための研究プラットフォームとしても機能することとなった。</p> <p>平成28年度は、地域が求める人材育成を行うため、産学官の枠組みで協議を重ね、平成29年度に食産業に係る人材育成に特化した「フード・マネジメント学科」を立ち上げるに至った。</p> <p>また、このプラットフォームは研究開発のプラットフォームとしても機能することとなり、福岡県で生産量の多い「柿」を活用した新たな商品・メニュー開発を地域全体で進め、一部商品を実際に販売するなど実績をだしている。</p> <p>なお、開発した商品は、実際にヒトへの喫食といった臨床実験も行っており、内臓脂肪が平均でマイナス8%減少するなど、極めて顕著な成績を残した。</p>		<p><b>福岡食育健康都市づくり地域協議会</b></p> 	

窓口	担当部署	産学官連携推進室	担当者
TEL	0952376289	Email:	chiren@niisikyu-u.ac.jp
産運HP			
シーズDB	<a href="http://er.nisikyu-u.ac.jp">http://er.nisikyu-u.ac.jp</a>		

## 大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

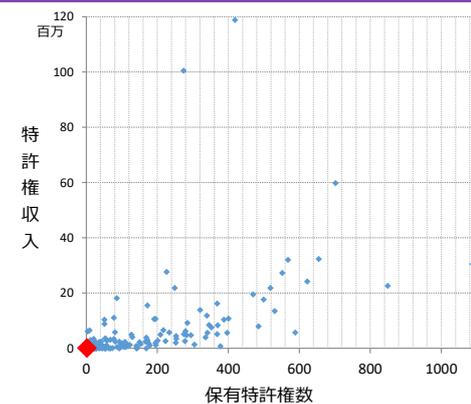
## 産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 _____ 人</p> <p>実用化数 _____ 件</p>	<p><b>産学連携担当部署</b></p> <p>実務担当者 0 名</p> <p>実務者あたり研究者数 _____ 名</p> <p>専門性を有する者の配置  <small>弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他</small></p>	<p><b>URA</b></p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>URAあたり研究者数 _____ 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">プレアワード</th></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及びポストアワード</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><th colspan="2">ポストアワード</th></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>研究戦略推進支援</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	プレアワード		及び研究戦略推進支援	_____ 名	及びポストアワード	_____ 名	及び研究戦略推進支援	_____ 名	ポストアワード		及び研究戦略推進支援	_____ 名	研究戦略推進支援	_____ 名	<p><b>コーディネーター(CDN)</b></p> <p>実務担当者 _____ 名</p> <p>CDNあたり研究者数 _____ 名</p> <p>コーディネーター職務従事状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">知財創生 (発明相談、特許出願等)</th></tr> <tr><td>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</td><td>_____ 名</td></tr> <tr><td>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</td><td>_____ 名</td></tr> </table>	知財創生 (発明相談、特許出願等)		研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名	シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名	技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名	ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名	事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名
プレアワード																													
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
及びポストアワード	_____ 名																												
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
ポストアワード																													
及び研究戦略推進支援	_____ 名																												
研究戦略推進支援	_____ 名																												
知財創生 (発明相談、特許出願等)																													
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名																												
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名																												
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名																												
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名																												
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名																												
<p><b>各種規程類の整備状況</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>産学連携ポリシー</td><td></td></tr> <tr><td>知的財産ポリシー</td><td></td></tr> <tr><td>共同研究取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>受託研究取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>研究成果有体物取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>職務発明規程 (教職員のみ対象)</td><td></td></tr> <tr><td>発明補償関係規程 (教職員、学生)</td><td></td></tr> <tr><td>守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)</td><td></td></tr> <tr><td>守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)</td><td></td></tr> <tr><td>営業秘密管理に関する規程</td><td></td></tr> <tr><td>株式の取扱等規程、ポリシー</td><td></td></tr> </table>				産学連携ポリシー		知的財産ポリシー		共同研究取扱規程		受託研究取扱規程		研究成果有体物取扱規程		職務発明規程 (教職員のみ対象)		発明補償関係規程 (教職員、学生)		守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)		守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)		営業秘密管理に関する規程		株式の取扱等規程、ポリシー					
産学連携ポリシー																													
知的財産ポリシー																													
共同研究取扱規程																													
受託研究取扱規程																													
研究成果有体物取扱規程																													
職務発明規程 (教職員のみ対象)																													
発明補償関係規程 (教職員、学生)																													
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)																													
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)																													
営業秘密管理に関する規程																													
株式の取扱等規程、ポリシー																													
<p><b>産学連携業務分担</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">担当部署等</th></tr> <tr><th>産学連携業務分担</th><th>産連本部   他部署   外部委託</th></tr> <tr><td>共同研究等の企画・提案</td><td></td></tr> <tr><td>契約書での成果目標、達成時の明記</td><td></td></tr> <tr><td>共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)</td><td></td></tr> <tr><td>共同研究の進捗管理とフィードバック</td><td></td></tr> <tr><td>企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案</td><td></td></tr> </table>				担当部署等		産学連携業務分担	産連本部   他部署   外部委託	共同研究等の企画・提案		契約書での成果目標、達成時の明記		共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)		共同研究の進捗管理とフィードバック		企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案													
担当部署等																													
産学連携業務分担	産連本部   他部署   外部委託																												
共同研究等の企画・提案																													
契約書での成果目標、達成時の明記																													
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)																													
共同研究の進捗管理とフィードバック																													
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案																													



**2016年度特許出願・活用実績**

特許出願件数	0	研究者あたり件数
特許保有件数	2	
特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	



**本格的な共同研究**

平均(目安)交渉期間 \_\_\_\_\_ 件

分野横断型共同研究 \_\_\_\_\_ 件

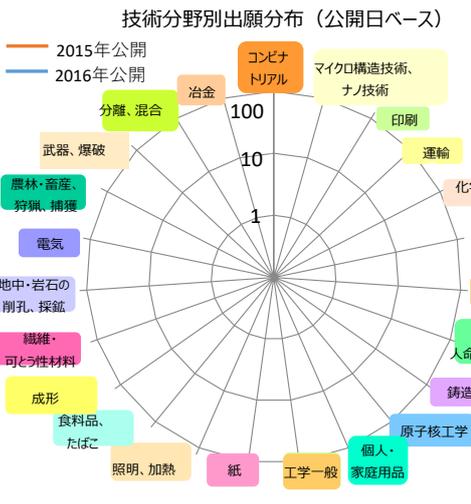
大学役員等と定期的に見え交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	1 件
マッチングを行い、契約締結した件数	0 件

**特許出願に関する発明のもととなった研究**

	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	0	0	0	0

総出願数に対する割合 \_\_\_\_\_

受入額比 \_\_\_\_\_ 千円/件



**出願数上位技術分野 (2016年公開)**

順位	IPC	分野	件数

**大学の得意分野とその具体例**

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	18	19,500	1,600	7,685			割合は定めていない

職務発明の帰属	
大学	発明者

不実施補償の扱い			
契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他

クローバ実績		クローバ規定	
受入	大学	有り	無し
	企業		
派遣	大学	企業とのクローバ	
	企業	可能	不可

大学発 ベンチャー数  社	ベンチャー支援体制								産学連携へのインセンティブ	
	相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド		人事評価等への反映	
	有り	無し	有り	無し	有り	件	無し	有り	円	無し

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署		担当者
TEL		Email:	
産連HP			
シースDB			

## 大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

## 産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 \_\_\_\_\_ 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

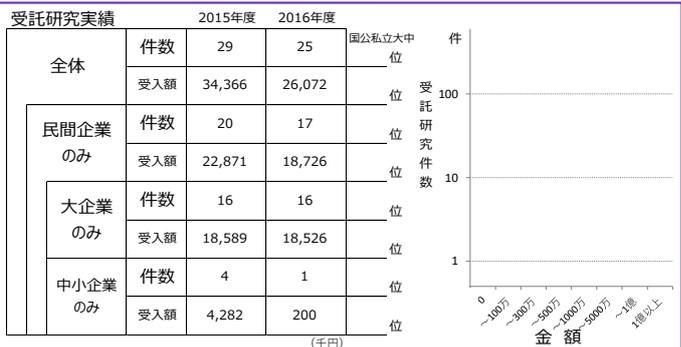
産学連携担当部署	
実務担当者 _____ 名	実務者あたり研究者数 _____ 名
専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他	
産学連携業務分担	
共同研究等の企画・提案	担当部署等 産連本部   他部署   外部委託
契約書での成果目標、達成時の明記	
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)	
共同研究の進捗管理とフィードバック	
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案	

URA	
実務担当者 _____ 名	URAあたり研究者数 _____ 名
URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネーター(CDN)	
実務担当者 _____ 名	CDNあたり研究者数 _____ 名
コーディネータ職務従事状況	
知財副生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シースPR (イベント出席、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	

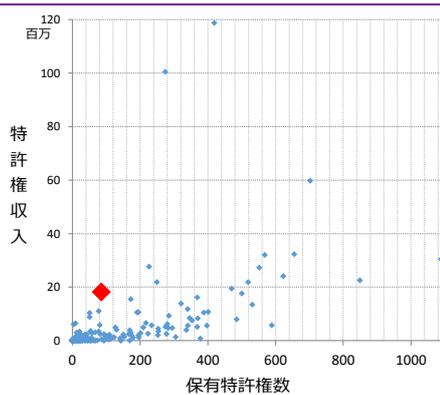
### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱規程、ポリシー	



### 2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	15	研究者あたり件数
特許保有件数	86	
特許権実施等件数	886	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	18,179	20.5



### 大学の得意分野とその具体例

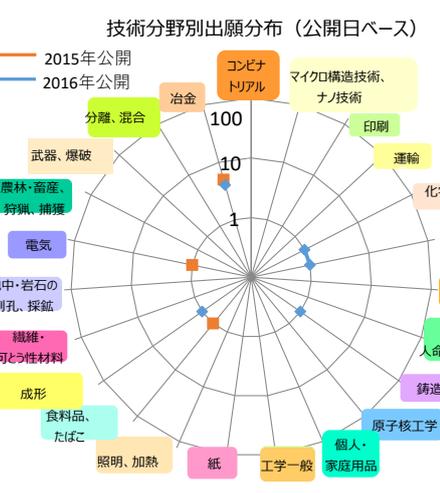
平均(目安)交渉期間	
分野横断型共同研究	_____ 件
大学役員等と定期的に意見交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

### 特許出願に関する発明のもととなった研究

件数	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
(参考値)				
総出願数に対する割合				
受入額比				千円/件

### 出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	C23	金属材料の鍛造; 金属材料による材料への被覆; 化学的表面処理; 金属材料の腐食処理; 真空蒸着, スパッタリング, イオン注入法, または化学蒸着による被覆一般; 金属材料の防食または腐食の抑制一般	4
2	B32	積層体	1
2	C03	ガラス、鉱物、スラグウール	1
2	E02	水工、基礎、土砂の移送	1
2	G01	測定、試験	1



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クローブ実績		クローブ規定	
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
							企業		
大学発 ベンチャー数	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ		派遣	大学	企業とのクローブ
	相談窓口	設立ボリシー 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド		人事評価等への反映	企業	可能	不可
社	有り	無し	有り	件	無し	有り	円	無し	
						インセンティブ設計無し			

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

本件連絡先							
機関名	関東学院大学	部署名	国際研究研修センター事務局	TEL	0465-32-2600	E-mail	<a href="mailto:seminar@kanto-gakuin.ac.jp">seminar@kanto-gakuin.ac.jp</a>

組織的産学官連携活動における取組方針等		
<p>・大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針</p> <p>校訓「人になれ 奉仕せよ」に基づき、総合大学の強みを活かした全学的・学際的研究に取り組むことにより、研究力の向上と研究成果の社会還元、また研究活動を通じた社会連携を推進する。</p>	<p>・産学官連携活動における大学等の得意分野とその具体例(特色ある研究成果(特許等))</p> <p>材料・表面工学分野において、国内トップレベルの特許権実施等件数を誇る他、国内外の企業との研究及び研究者受入れ(育成)を活発に行っている。 (一例:特願2017-004221「車両用ドアハンドル部材及び車両用外装部材」)</p>	<p>・産学官連携活動について今後重点化したい事項</p> <p>・研究開発成果の実用化 ・企業等のニーズに応じた実践的・専門的教育プログラムの提供(人材育成)</p>

組織的産学官連携活動の取組事例  
無電解めっき技術を用いた静電容量型自動車ドアハンドル用機能性めっき皮膜の共同研究

概要	体制図等
<p><b>【本取組実施のきっかけ・課題】</b> 現在、金属意匠を有する車両用静電容量型ドアハンドルは、インジウム(In)という希少金属が蒸着法により成膜されており、低歩留まり・高コストになっている。代替として光輝フィルムインサート法があるが、同様に高コストである。めっきでの検討例はこれまでにない。 本取組により、安価な金属で高歩留まりとなるIn蒸着代替技術の確立、歩留まり向上及び低コスト化を目指す。立案にあたり、金属意匠性(光輝性)、センサーとしてのIn同等の性能を有することに留意した。</p> <p><b>【平成28年度の実施内容】</b> 廉価版静電容量ドアハンドルの実現に向け、非導電化膜の確立、金属意匠の追求及び性能評価を実施。 従来の取組との違い・特徴として、現行品はIn蒸着により非導電性金属膜が意匠面として利用されているのに対し、本研究は無電解ニッケル(Ni)めっき膜を非導電化することにより低コスト化が可能、且つ、金属意匠性を確保することができる。</p> <p><b>【今後の展開や市場規模・シェア等】</b> 市場展開頂く、共同研究相手の(株)アルファと協議のうえで実用化年を別途設定する(車両用は認定期間が数年かかる傾向あり)。また、自動車用途以外の展開(例:家庭用キーレスドア)も視野にいれ共同研究を継続中。</p>	<p>関東学院大学 材料・表面工学研究所にて開発した電波透過性ニッケルめっき皮膜(非導電性めっき膜)を静電容量型自動車ドアハンドルに応用。 めっき基礎技術+ドアハンドル((株)アルファ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div> <p>2016.2.29.データ資料</p>  </div> <div> <p>2016.10.12.データ資料</p>  </div> </div> <p>イメージ写真(Ref:(株)アルファ HP)</p> 

窓口	担当部署	リゾンセンター	担当者	松本 牧子
TEL	0643073032	Email:	kenkyujosei@itp.kindai.ac.jp	
産連HP	<a href="http://www.kindai.ac.jp/liaison/">http://www.kindai.ac.jp/liaison/</a>			
シースDB				

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

近畿大学における研究活動をベースとする産官学金の連携・交流を円滑に推進するための組織として、近畿大学リゾンセンターを2000年2月に設立。建学の精神である「実学教育」のもと、産業界や自治体などの連携による研究や知的財産の創造を図っている。

産学官連携活動について今後重点化したい事項

下記クラウドファンディングに対しては、更に第二弾、第三弾と取組みプロジェクトを増やしていく。

研究者数 2,201 人  
実用化数 17 件

産学連携担当部署	実務担当者 7 名	実務者あたり研究者数 314 名	専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他																								
産学連携業務分担	<table border="1"> <tr> <th>担当部署等</th> <th>産連本部</th> <th>他部署</th> <th>外部委託</th> </tr> <tr> <td>共同研究等の企画・提案</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>契約書での成果目標、達成時の明記</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>共同研究の進捗管理とフィードバック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業ニーズに適應した技術移転・事業化提案</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			担当部署等	産連本部	他部署	外部委託	共同研究等の企画・提案				契約書での成果目標、達成時の明記				共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)				共同研究の進捗管理とフィードバック				企業ニーズに適應した技術移転・事業化提案			
担当部署等	産連本部	他部署	外部委託																								
共同研究等の企画・提案																											
契約書での成果目標、達成時の明記																											
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)																											
共同研究の進捗管理とフィードバック																											
企業ニーズに適應した技術移転・事業化提案																											

URA	実務担当者 0 名	URAあたり研究者数																
URA職務従事状況	<table border="1"> <tr> <th>プレアワード</th> <th>名</th> </tr> <tr> <td>及び研究戦略推進支援</td> <td>0</td> </tr> <tr> <th>及びポストアワード</th> <th>名</th> </tr> <tr> <td>及び研究戦略推進支援</td> <td>0</td> </tr> <tr> <th>ポストアワード</th> <th>名</th> </tr> <tr> <td>及び研究戦略推進支援</td> <td>0</td> </tr> <tr> <th>研究戦略推進支援</th> <th>名</th> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> </tr> </table>		プレアワード	名	及び研究戦略推進支援	0	及びポストアワード	名	及び研究戦略推進支援	0	ポストアワード	名	及び研究戦略推進支援	0	研究戦略推進支援	名		0
プレアワード	名																	
及び研究戦略推進支援	0																	
及びポストアワード	名																	
及び研究戦略推進支援	0																	
ポストアワード	名																	
及び研究戦略推進支援	0																	
研究戦略推進支援	名																	
	0																	

コーディネーター(CDN)	実務担当者 7 名	CDNあたり研究者数 314 名												
コーディネータ職務従事状況	<table border="1"> <tr> <th>知財創生 (発明相談、特許出願等)</th> <th>名</th> </tr> <tr> <td>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</td> <td></td> </tr> <tr> <th>シースPR (イベント出席、企業訪問等)</th> <th>名</th> </tr> <tr> <td>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</td> <td></td> </tr> <tr> <th>ニース調査 (企業訪問、市場動向分析)</th> <th>名</th> </tr> <tr> <td>事業化支援 (パンチャー起業化支援、販路開拓)</td> <td></td> </tr> </table>		知財創生 (発明相談、特許出願等)	名	研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)		シースPR (イベント出席、企業訪問等)	名	技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)		ニース調査 (企業訪問、市場動向分析)	名	事業化支援 (パンチャー起業化支援、販路開拓)	
知財創生 (発明相談、特許出願等)	名													
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)														
シースPR (イベント出席、企業訪問等)	名													
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)														
ニース調査 (企業訪問、市場動向分析)	名													
事業化支援 (パンチャー起業化支援、販路開拓)														

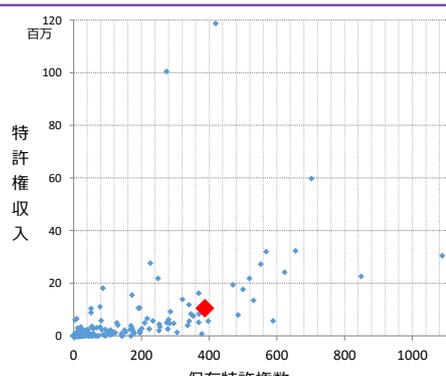
各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	60	研究者あたり件数 0.027
特許保有件数	388	0.176
特許権実施等件数	21	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	20	1.0
2016年度に有償契約した権利	20	1.0
特許権実施等収入 (千円)	10,420	496.2



本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間	1ヶ月	分野横断型 共同研究 46 件
大学役員等と定期的意見交換する企業数	0 件	
うち共同研究した企業		
産学連携本部が関与した共同研究	15 件	
マッチングを行い、契約締結した件数	3 件	

特許出願に関する発明のもととなった研究

	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	19	14	8	1

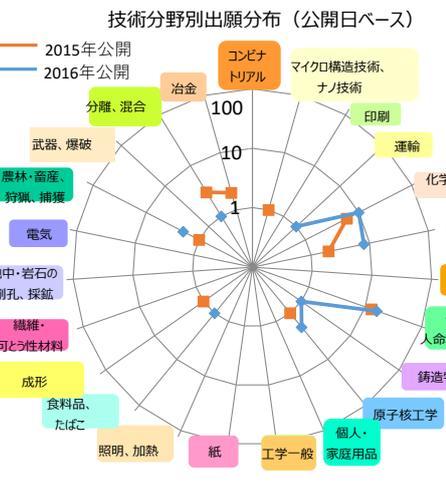
(参考値)

総出願数に対する割合	0.3167	0.2333	0.1333	0.0167
受入額比	0	55,960		

千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	16
2	G01	測定、試験	6
3	C07	有機化学	4
3	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	4
5	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	2
5	C08	有機高分子化合物等	2
5	G06	計算、計数	2
5	G21	核物理、核工学	2



大学の得意分野とその具体例

現在、14学部48学科、法科大学院と大学院11研究科を持ち、私立大学として唯一、医学部、薬学部、農学部をすべて備え、さらに17の研究所、2つの短大、併設学校18学園、大規模な3つの総合病院を持ち、本学の研究成果・実績・ポテンシャルを有効に活用し、社会に寄与。

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	432	745,930	453,947	1,438,547	有り		10%以上15%未満

職務発明の所属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
9 社

ベンチャー支援体制

相談窓口	設立ポリシー、 推進計画	インキュベーション施設	支援ファンド
有り 無し	有り 無し	有り 件 無し 有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

筋クランプ(足の攣り)予防効果を持つ世界初のスポーツウェア「MAGUROGEAR」を開発							
本件連絡先							
機関名	近畿大学	部署名	リエゾンセンター	TEL	06-4307-3099	E-mail	klc@kindai.ac.jp
概要				図・写真・データ			
<p>この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>ランナー、特にマラソンなどの長距離ランナーにとって、ハムストリング(大腿二頭筋、半腱様筋、半膜様筋)などの下半身で筋クランプが発生することは、選手生命にかかわる肉離れなどの大きな怪我につながりかねない。</p> <p>・成果</p> <p>筋クランプ(足の攣り)の予防効果を持つ世界初のスポーツウェアを開発。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>株式会社BB-SPOUNTSと生物理工学部准教授 谷本 直哉は、筋クランプを予防するスポーツウェアの共同開発に取り組みました。下半身のウェア(スパッツ)で筋肉への適切なコンプレッション(着圧)をかけることで筋クランプを予防できることを実験で証明し、世界初の筋クランプ予防効果を持つスポーツウェアを開発した。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>研究室長BB-SPOUNTSより、「世界中どこでもユニフォームにも無い、本当に効果の証明出来るスポーツウェアを開発したい。その中で、マラソンなどの陸上競技は勿論、殆どのスポーツに於いても走るという運動は欠かせない為、その運動の中でのパフォーマンスを上げる商品開発を模索したい」との要望より研究を開始。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>世界初の発明と謳える実験結果が欲しい。効果がアスリートにとって役に立つ、パフォーマンス向上に繋がる物を開発し商品化したい。との要望。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>筋クランプを起こしやすい筋疲労状態で、足の筋力を最大限に発揮できるように負荷をかけると、「MAGURO GEAR」を着用した場合は、着用しない場合と比較して、筋力発揮後3~6秒、6~9秒で筋放電量が有意に低値(P&lt;0.05)となり、筋力発揮後0~3秒では低値傾向(P&lt;0.1)を示した(図1)。また、実験対象者の主観評価においても有意に低値を示した。</p>				 <p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p> <p>・&lt;<a href="http://www.bodymaker.jp/maguro/">http://www.bodymaker.jp/maguro/</a>&gt;</p> <p>・&lt;<a href="http://www.news2u.net/releases/148759">http://www.news2u.net/releases/148759</a>&gt;</p> <p>・日本経済新聞に掲載(2016年10月26日)</p>			

組織的産学官連携活動における取組方針等							
本件連絡先							
機関名	近畿大学	部署名	リエゾンセンター	TEL	06-4307-3099	E-mail	klc@kindai.ac.jp
<p>・大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針</p> <p>近畿大学における研究活動をベースとする産官学金の連携・交流を円滑に推進するための組織として、近畿大学リエゾンセンターを2000年2月に設立。建学の精神である「実学教育」のもと、産業界や自治体などとの連携による研究や知的財産の創造を図っている。</p>		<p>・産学官連携活動における大学等の得意分野とその具体例(特色ある研究成果(特許等))</p> <p>現在、14学部48学科、法科大学院と大学院11研究科を持ち、私立大学として唯一、医学部、薬学部、農学部をすべて備え、さらに17の研究科、2つの短大、併設学校18学園、大規模な3つの総合病院を持ち、本学の研究成果・実績・ポテンシャルを有効に活用し、社会に寄与。</p>		<p>・産学官連携活動について今後重点化したい事項</p> <p>下記クラウドファンディングに対しては、更に第二弾、第三弾と取組みプロジェクトを増やしていく。</p>			

組織的産学官連携活動の取組事例  
日本初！近畿大学×株式会社CAMPFIREが提携  
クラウドファンディングで研究資金調達をめざす新たな外部研究資金を得て、「実学」の成果を社会に還元

概要	体制図等
<p>近畿大学は、日本最大級のクラウドファンディングを運営する株式会社CAMPFIREと、日本の大学として初めて提携を結び、大学を挙げてクラウドファンディングを利用した外部研究資金調達の取り組みを開始。</p> <p>&lt;ポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● クラウドファンディングで大学の研究資金を調達</li> <li>● 社会のニーズを知り、必要とされる研究に注力する</li> <li>● 学生のクラブ活動等にも CAMPFIRE の活用を検討</li> </ul> <p>&lt;28年度成果&gt;「近大ハニー」プロジェクト</p> <p>・国産ハチミツは自給率7%程度と生産量が非常に少なくっており、世界的にも生産量の減少が問題になっています。</p> <p>・近畿大学工学部では、平成26年から、化学生命工学科准教授の山本和彦と建築学科准教授の松田博幸が中心となり、学科の垣根を越えて「近大ハニー」というハチミツを作るプロジェクトを実施している。キャンパス内に3群の巣箱(合計約9万匹)を設置して飼育を開始し、翌年には約24kgのハチミツを集めた。</p> <p>・本プロジェクトでは、単に養蜂を行うのではなく、健康機能を強化したハチミツの生産や、ハチミツの創傷治療作用を生かした衛生材料や化粧品の開発、さらにはミツバチが集める天然酵母等の有用な微生物から酒や酢などの発酵食品を製造することなどをめざす。また、耕作放棄地に「レンゲ」などの花を植えることで、養蜂のためだけでなく、地元の観光資源として地方創生、雇用創出に貢献する。</p> <p>・今回 CAMPFIRE で調達した研究資金は、蜂の巣箱の購入費用等に充てた。調達目標20万円に対し、平成28年6月23日に募集を開始し、141人の支援により165万円の支援資金を得ることができた。</p>	

窓	担当部署	芸術文化地域連携センター		担当者	戸田和芳
口	TEL	0286256888	Email:	toda@art.bunsei.ac.jp	
産連HP	http://www.bunsei.ac.jp/sys/guide/renkei-center/				
シーズDB					

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 19 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

産学連携担当部署		
実務担当者	2 名	実務者あたり研究者数 10 名
専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他		
産学連携業務分担		
共同研究等の企画・提案	担当部署等	産連本部   他部署   外部委託
契約書での成果目標、達成時の明記		
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)		
共同研究の進捗管理とフィードバック		
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案		

URA	
実務担当者	名
URAあたり研究者数	名
URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネーター(CDN)	
実務担当者	3 名
CDNあたり研究者数	6 名
コーディネーター職務従事状況	
知財創生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	

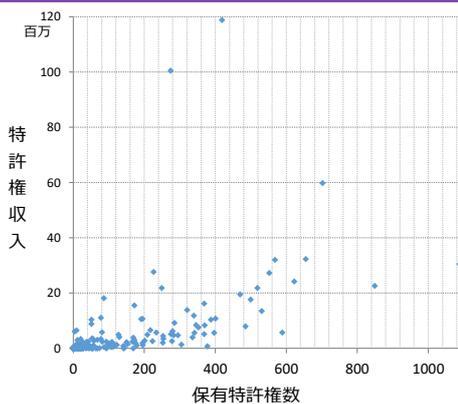
各種規程類の整備状況
産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	研究者あたり件数
特許保有件数	

特許権実施等件数	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	
2016年度に有償契約した権利	
特許権実施等収入 (千円)	

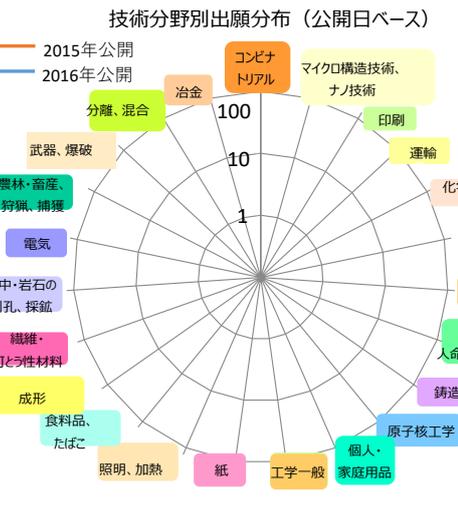


本格的な共同研究	
平均(目安)交渉期間	
分野横断型共同研究	件
大学役員等と定期的意見交換する企業数	件
うち共同研究した企業	件
産学連携本部が関与した共同研究	件
マッチングを行い、契約締結した件数	件

特許出願に関する発明のもととなった研究			
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数			

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例	

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	0	0	0	0			30%以上

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発 ベンチャー数	1	社
---------------	---	---

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者	渡辺 香織
TEL	0286703614	Email:	renkei@sakushin-u.ac.jp
産連HP			
シーズDB			

## 大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

## 産学官連携活動について今後重点化したい事項

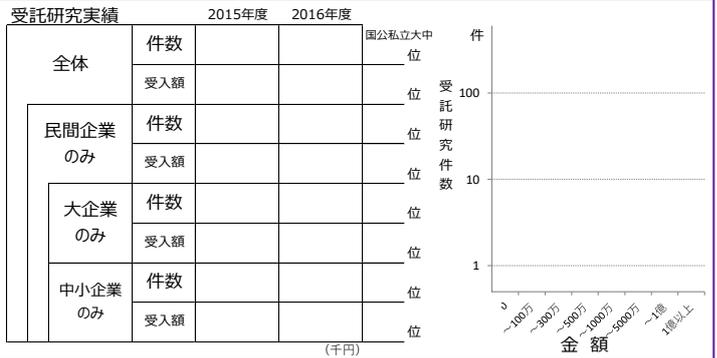
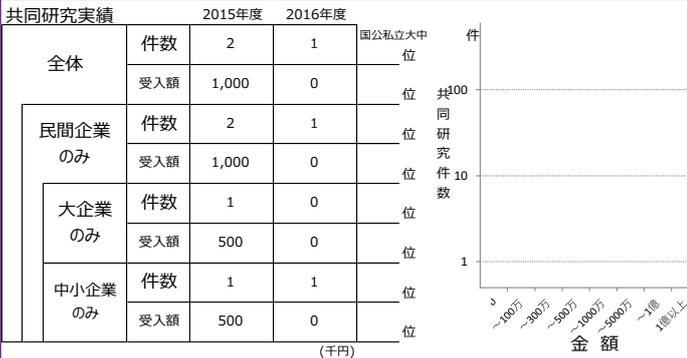
研究者数 62 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

産学連携担当部署		
実務担当者	0 名	実務者あたり研究者数 _____ 名
専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他		
産学連携業務分担		
共同研究等の企画・提案	担当部署等	産連本部   他部署   外部委託
契約書での成果目標、達成時の明記		
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)		
共同研究の進捗管理とフィードバック		
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案		

URA	
実務担当者	_____ 名
URAあたり研究者数	_____ 名
URA職務従事状況	
プレアワード	_____ 名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
及びポストアワード	_____ 名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
ポストアワード	_____ 名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
研究戦略推進支援	_____ 名

コーディネーター(CDN)	
実務担当者	_____ 名
CDNあたり研究者数	_____ 名
コーディネーター職務従事状況	
知財創生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名

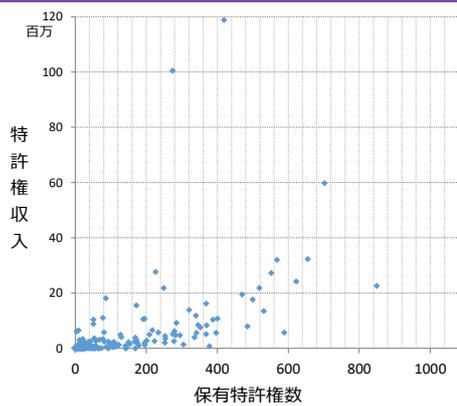
各種規程類の整備状況
産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー



## 2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	_____ 件	研究者あたり件数 _____
特許保有件数	_____ 件	

特許権実施等件数	_____ 件	実施等件数あたり _____
2016年度に収入のあった権利	_____ 件	
2016年度に有償契約した権利	_____ 件	
特許権実施等収入 (千円)	_____ 千円	

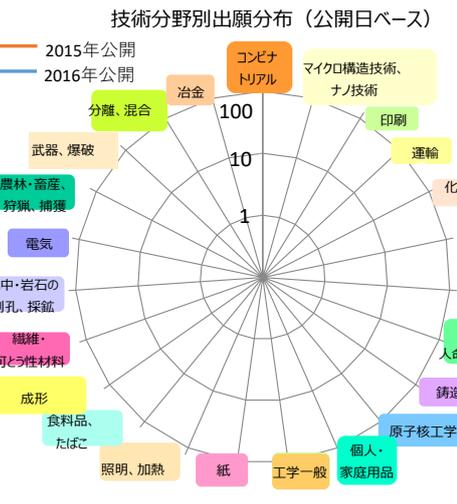


本格的な共同研究	_____ 件
平均(目安)交渉期間	_____ 日
分野横断型共同研究	_____ 件
大学役員等と定期的意見交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究			
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	0	0	

総出願数に対する割合	_____ %
受入額比	_____ 千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例	

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					10%未満

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クローブ実績		クローブ規定		
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他		受入	大学	有り	無し
								企業		
							派遣	大学	企業とのクローブ	
								企業	可能	不可

大学発 ベンチャー数	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ					
社	相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド		人事評価等への反映	
	有り	無し	有り	無し	有り	件	無し	有り	円	無し
									インセンティブ設計無し	

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	昭和研究センター	担当者	
TEL	0334115522	Email:	liaison-center@swu.ac.jp	
産連HP	https://univ.swu.ac.jp/contribut/			
シーズDB				

## 大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

## 産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 214 人  
実用化数 0 件

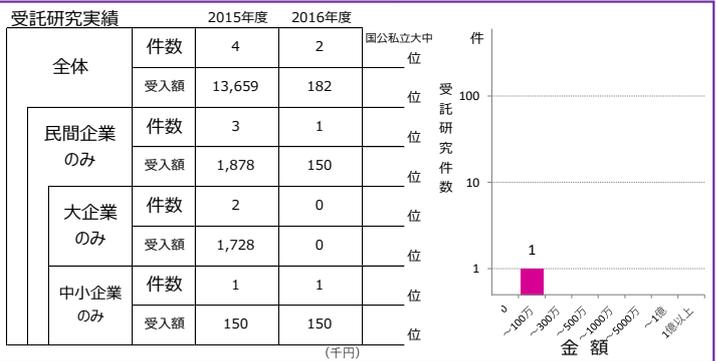
産学連携担当部署			
実務担当者	8 名	実務者あたり研究者数	27 名
専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他			
産学連携業務分担			
担当部署等	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

URA	
実務担当者	0 名
URAあたり研究者数	名
URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネーター(CDN)	
実務担当者	0 名
CDNあたり研究者数	名
コーディネーター職務従事状況	
知財創生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	

### 各種規程類の整備状況

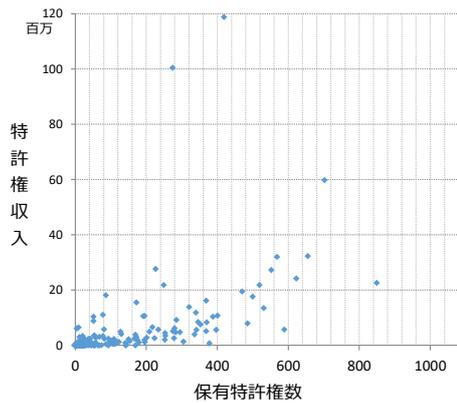
産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱等規程、ポリシー	



### 2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数		研究者あたり件数
特許保有件数		

特許権実施等件数		実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	0	
2016年度に有償契約した権利	0	
特許権実施等収入 (千円)		

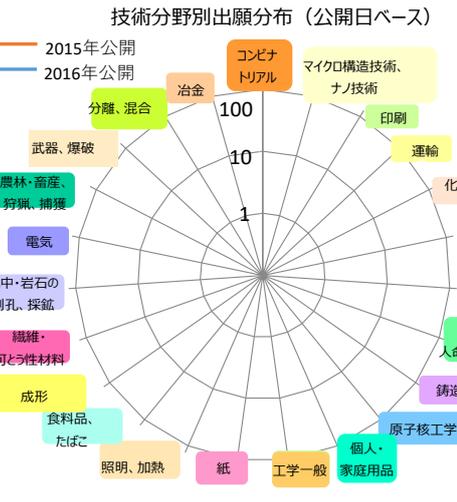


本格的な共同研究	
平均(目安)交渉期間	1ヶ月
分野横断型共同研究	件
大学役員等と定期的に見え交換する企業数	件
うち共同研究した企業	件
産学連携本部が関与した共同研究	件
マッチングを行い、契約締結した件数	件

特許出願に関する発明のもととなった研究			
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数			

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例	

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	36	29,305	4,715	298			10%未満

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
0 社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 \_\_\_\_\_ 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

産学連携担当部署  
実務担当者 \_\_\_\_\_ 名  
 実務者あたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名  
 専門性を有する者の配置  
 弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

URA  
実務担当者 \_\_\_\_\_ 名  
 URAあたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

コーディネーター(CDN)  
実務担当者 \_\_\_\_\_ 名  
 CDNあたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱等規程、ポリシー	

産学連携業務分担

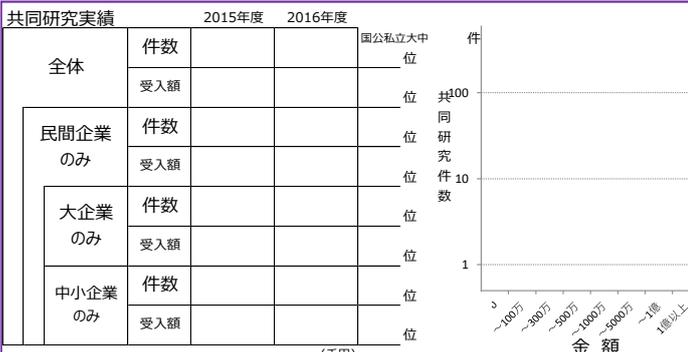
産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

URA職務従事状況

プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネーター職務従事状況

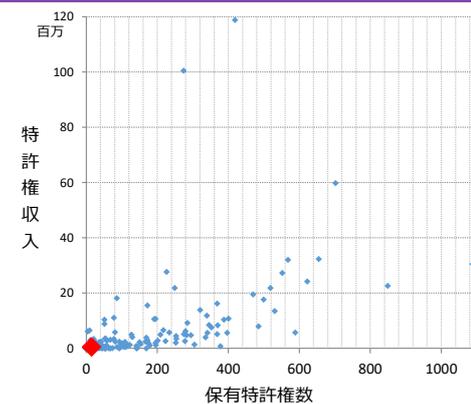
知財衛生 (発明相談、特許出願等)	名
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	名
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	名
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	名
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	名
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	名



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	3	研究者あたり件数
特許保有件数	15	

特許権実施等件数	2	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	436	218.0



本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間 \_\_\_\_\_ 件

分野横断型 共同研究 \_\_\_\_\_ 件

大学役員等と定期的に見直しを行う企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究

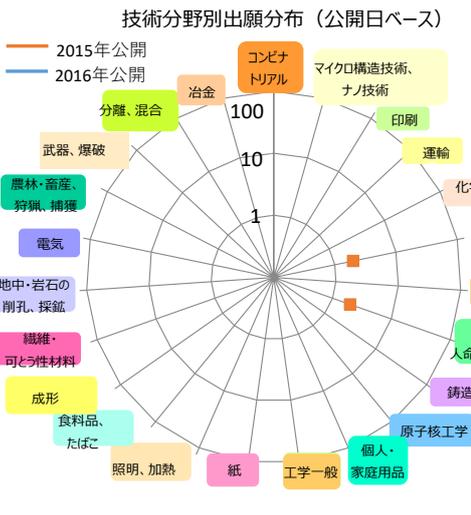
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数			

(参考値)

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者
TEL	Email:	
産連HP	<a href="http://www.seikei.ac.jp/university/rikou/laboratory/academia/">http://www.seikei.ac.jp/university/rikou/laboratory/academia/</a>	
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 250 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

産学連携担当部署

実務担当者 名 \_\_\_\_\_ 名  
 実務者あたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名  
 専門性を有する者の配置  
 弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

URA

実務担当者 名 \_\_\_\_\_ 名  
 URAあたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

コーディネーター(CDN)

実務担当者 名 \_\_\_\_\_ 名  
 CDNあたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携業務分担

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

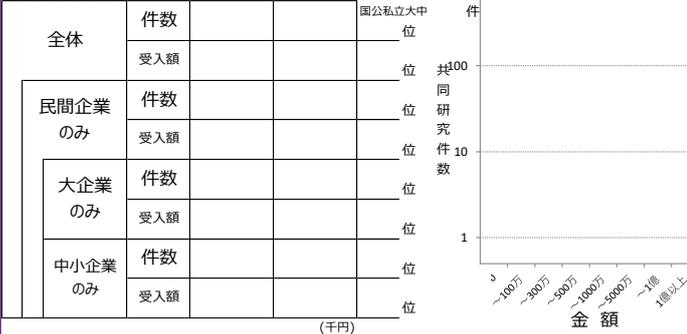
URA職務従事状況

プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

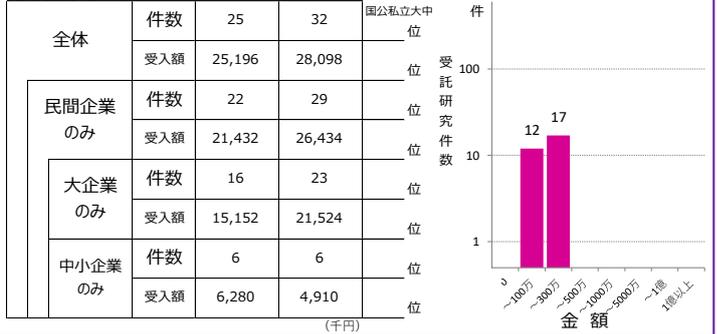
コーディネータ職務従事状況

知財創生 (発明相談、特許出願等)	名
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	名
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	名
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	名
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	名
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	名

共同研究実績



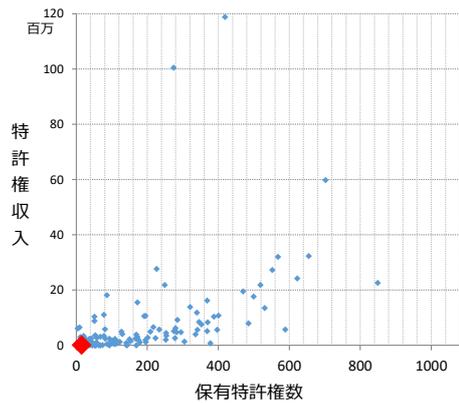
受託研究実績



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	7	研究者あたり件数 0.028
特許保有件数	15	0.060

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	



本格的な共同研究  
 平均(目安) 交渉期間 3ヶ月  
 分野横断型 共同研究 \_\_\_\_\_ 件

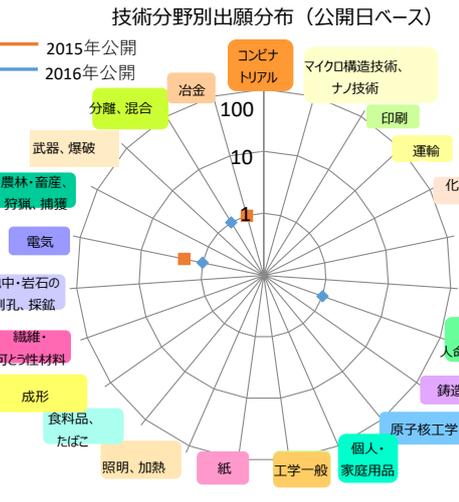
大学役員等と定期的に見え交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

大学の得意分野とその具体例

特許出願に関する発明のもととなった研究			
	共同研究	受託研究	補助金
件数	1	2	

総出願数に対する割合	0.1429	0.2857	
受入額比		14,049	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	1
1	B01	物理的・化学的方法または装置一般	1
1	H04	電気通信技術	1



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	61	96,150	36,183	43,098			割合は定めていない

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	1
	企業	

クローブ規定

有り	無し
----	----

企業とのクローブ

可能	不可
----	----

大学発  
ベンチャー数  
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

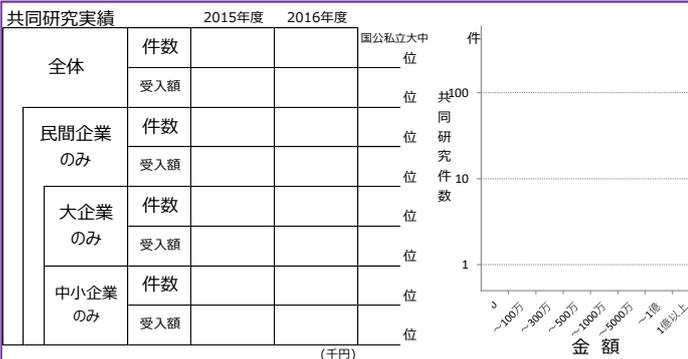
研究者数	実用化数
259 人	件

産学連携担当部署		
実務担当者	実務者あたり研究者数	専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他
産学連携業務分担		
共同研究等の企画・提案	産連本部	他部署
契約書での成果目標、達成時の明記		外部委託
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)		
共同研究の進捗管理とフィードバック		
企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案		

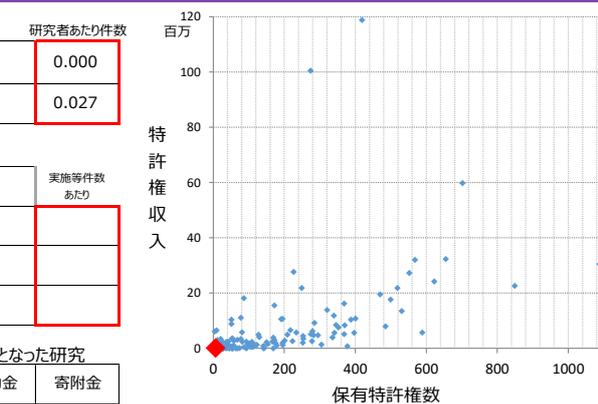
URA	
実務担当者	URAあたり研究者数
URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネーター(CDN)	
実務担当者	CDNあたり研究者数
コーディネーター職務従事状況	
知財創生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	

各種規程類の整備状況
産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱規程、ポリシー



2016年度特許出願・活用実績		
特許出願件数	0	研究者あたり件数 0.000
特許保有件数	7	0.027



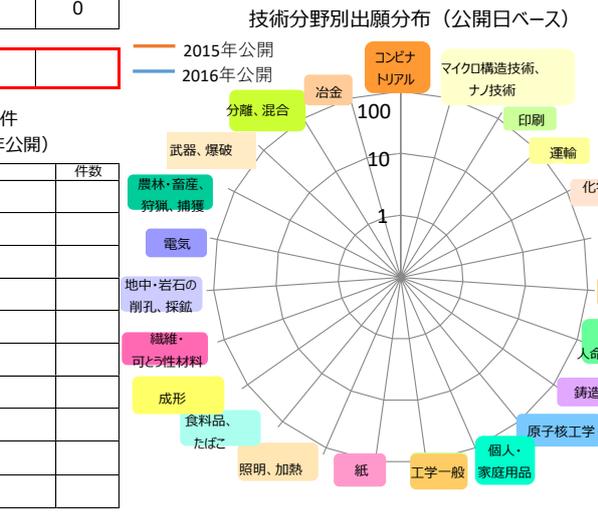
本格的な共同研究	平均(目安) 交渉期間 3ヶ月	分野横断型 共同研究 件
大学役員等と定期的に見直しを行う企業数		件
うち共同研究した企業		件
産学連携本部が関与した共同研究		件
マッチングを行い、契約締結した件数		件

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	

特許出願に関する発明のもととなった研究				
共同研究	受託研究	補助金	寄附金	
件数	0	0	0	0

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合  割合は定めていない
	件数	金額(千円)					
	32	62,270	1,883	16,300			

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
----	----

企業とのクローブ

可能	不可
----	----

大学発  
ベンチャー数  
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

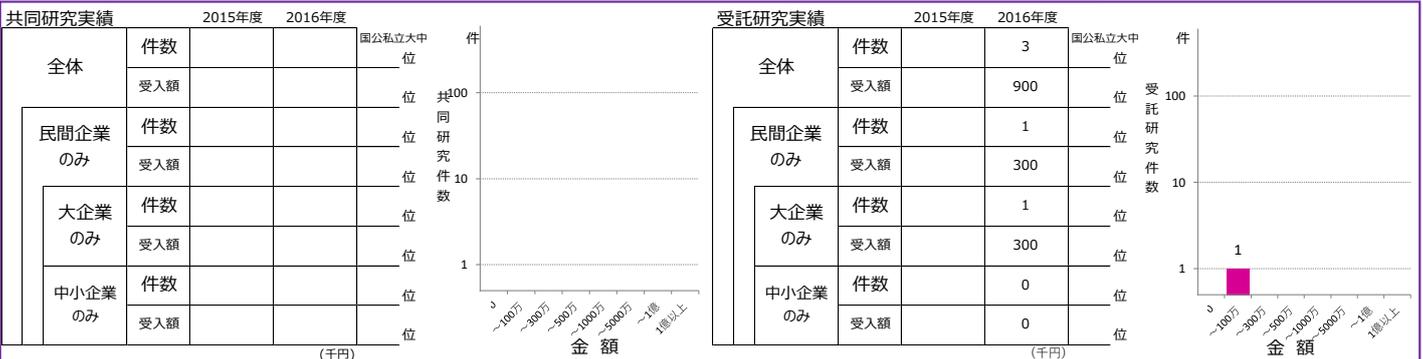
組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 236 人</p> <p>実用化数 0 件</p>	<p>産学連携担当部署</p> <p>実務担当者 名</p> <p>実務者あたり研究者数 名</p> <p>専門性を有する者の配置                  弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他</p>	<p>URA</p> <p>実務担当者 名</p> <p>URAあたり研究者数 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <p>プレアワード 名</p> <p>及び研究戦略推進支援 名</p> <p>及びポストアワード 名</p> <p>及び研究戦略推進支援 名</p> <p>ポストアワード 名</p> <p>及び研究戦略推進支援 名</p> <p>研究戦略推進支援 名</p>	<p>コーディネーター(CDN)</p> <p>実務担当者 名</p> <p>CDNあたり研究者数 名</p> <p>コーディネーター職務従事状況</p> <p>知財創生 (発明相談、特許出願等)</p> <p>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</p> <p>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</p> <p>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</p> <p>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</p> <p>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</p>
-----------------------------------	--	--	---



2016年度特許出願・活用実績		研究者あたり件数	
特許出願件数	1	0.004	
特許保有件数	2	0.008	

特許権実施等件数		実施等件数あたり	
2016年度に収入のあった権利	0		
2016年度に有償契約した権利			
特許権実施等収入 (千円)	0		

本格的な共同研究

平均(目安) 交渉期間

分野横断型 共同研究 \_\_\_\_\_ 件

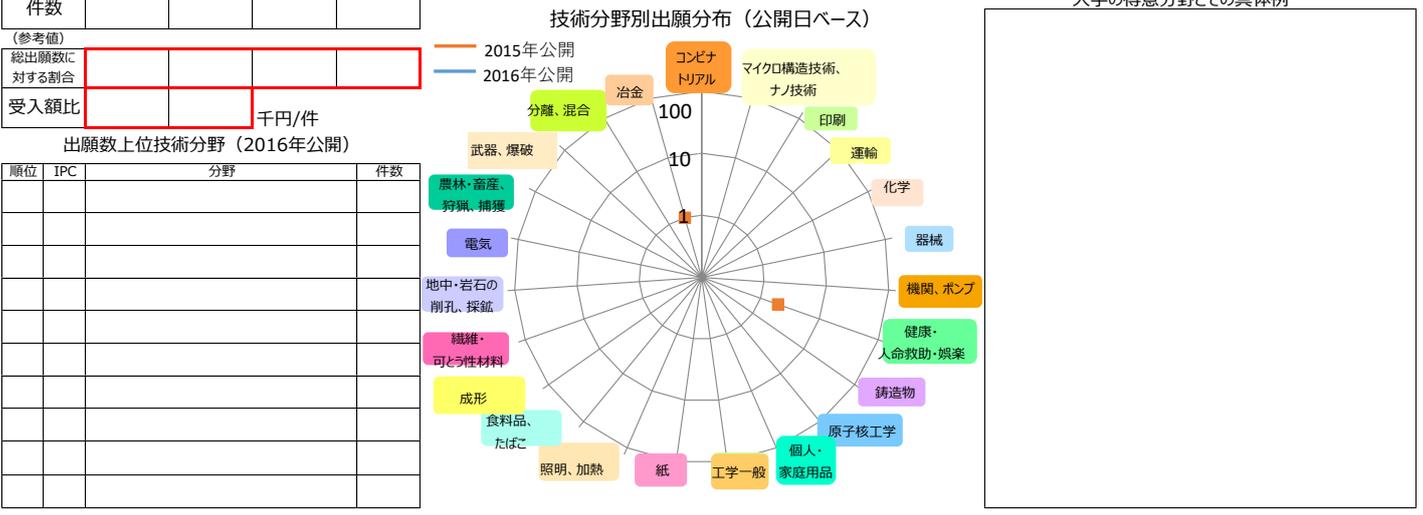
大学役員等と定期的に見え交換する企業数 \_\_\_\_\_ 件

うち共同研究した企業 \_\_\_\_\_ 件

産学連携本部が関与した共同研究 \_\_\_\_\_ 件

マッチングを行い、契約締結した件数 \_\_\_\_\_ 件

大学の得意分野とその具体例



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合  割合は定めていない
	件数	金額(千円)					
	62	99,710	4,862	15,096			

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	地域連携センター	担当者	小椋幸二
口	TEL	0246295412	Email:	chiiki@iwakimu.ac.jp
産連HP				
シーズDB				

## 大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

## 産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 114 人  
実用化数 0 件

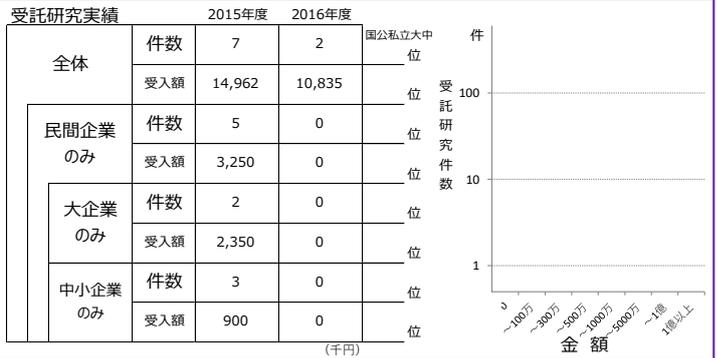
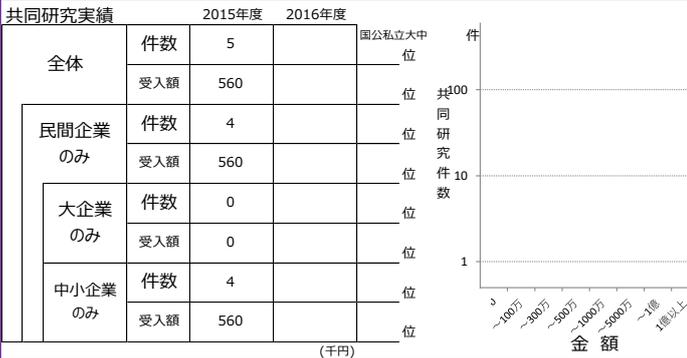
産学連携担当部署			
実務担当者	0 名	実務者あたり研究者数	
専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他			
産学連携業務分担			
担当部署等	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに対応した技術移転・事業化提案			

URA	
実務担当者	0 名
URAあたり研究者数	
URA職務従事状況	
プレアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
及びポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
ポストアワード	名
及び研究戦略推進支援	名
研究戦略推進支援	名

コーディネーター(CDN)	
実務担当者	0 名
CDNあたり研究者数	
コーディネーター職務従事状況	
知財創生 (発明相談、特許出願等)	
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	

### 各種規程類の整備状況

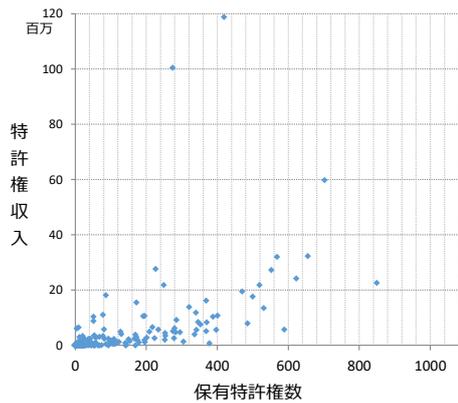
産学連携ポリシー	
知的財産ポリシー	
共同研究取扱規程	
受託研究取扱規程	
研究成果有体物取扱規程	
職務発明規程 (教職員のみ対象)	
発明補償関係規程 (教職員、学生)	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)	
営業秘密管理に関する規程	
株式の取扱規程、ポリシー	



### 2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	3	研究者あたり件数	0.026
特許保有件数	2		0.018

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり	
2016年度に収入のあった権利	0		
2016年度に有償契約した権利	0		
特許権実施等収入 (千円)	0		

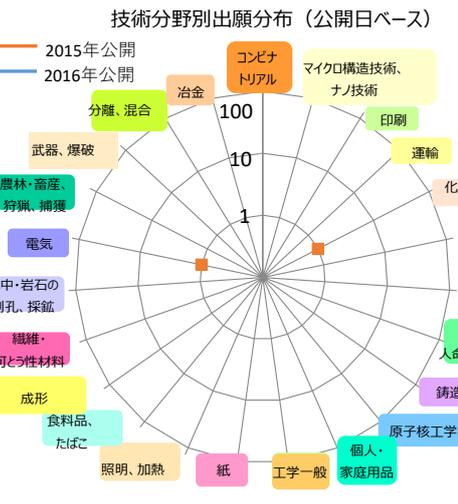


本格的な共同研究	
平均(目安)交渉期間	3ヶ月
分野横断型共同研究	件
大学役員等と定期的意見交換する企業数	1 件
うち共同研究した企業	0 件
産学連携本部が関与した共同研究	件
マッチングを行い、契約締結した件数	件

特許出願に関する発明のもととなった研究				
	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	1	0	2	0

総出願数に対する割合	0.3333	0	0.6667	0
受入額比			千円/件	

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例	

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	15	18,446	22,825	0			10%以上15%未満

職務発明の帰属	
大学	発明者

不実施補償の扱い			
契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他

クローブ実績	
受入	大学
	企業
派遣	大学
	企業

クローブ規定	
有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発 ベンチャー数 1 社	ベンチャー支援体制				産学連携へのインセンティブ				
	相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド		人事評価等への反映
	有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し	インセンティブ設計無し

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シーズDB		

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

産学官連携活動について今後重点化したい事項

研究者数 \_\_\_\_\_ 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

産学連携担当部署

実務担当者	名	実務者あたり研究者数	名	専門性を有する者の配置 弁護士   弁理士   税理士 公認会計士   その他
-------	---	------------	---	---

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに応じた 技術移転・事業化提案			

URA

実務担当者	名	URAあたり研究者数	名
-------	---	------------	---

URA職務従事状況		名
プレアワード		
及び研究戦略推進支援		名
及びポストアワード		名
及び研究戦略推進支援		名
ポストアワード		名
及び研究戦略推進支援		名
研究戦略推進支援		名

コーディネーター(CDN)

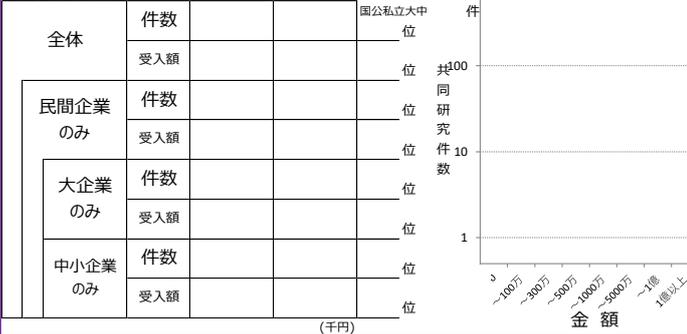
実務担当者	名	CDNあたり研究者数	名
-------	---	------------	---

コーディネーター職務従事状況		名
知財創生 (発明相談、特許出願等)		
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)		名
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)		名
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)		名
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)		名
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)		名

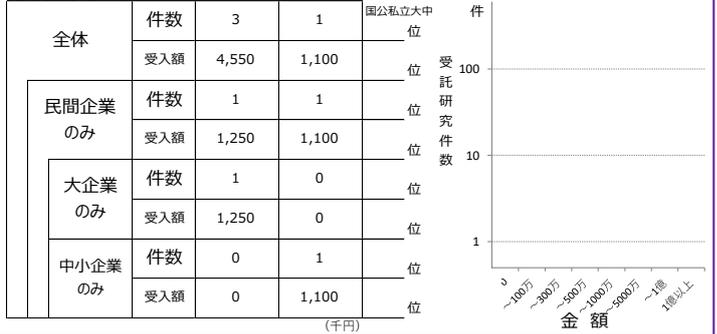
各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

共同研究実績



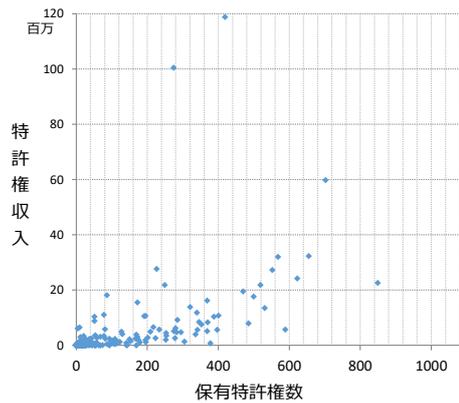
受託研究実績



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	1	研究者あたり件数
特許保有件数	1	

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	

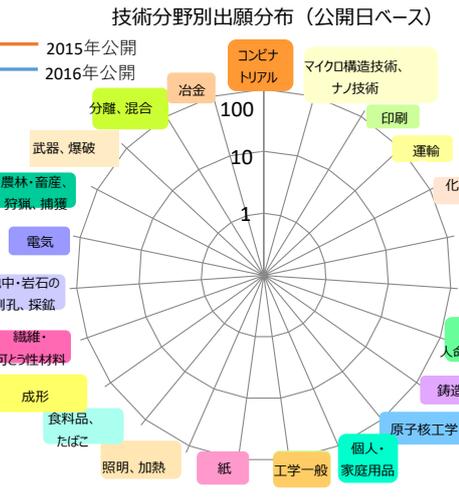


本格的な共同研究	
平均(目安)交渉期間	
分野横断型共同研究	_____ 件
大学役員等と定期的 に意見交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究			
共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数			

総出願数に対する割合	
受入額比	千円/件

出願数上位技術分野 (2016年公開)			
順位	IPC	分野	件数



大学の得意分野とその具体例	

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド				
有り	無し	有り	無し	有り	件	無し	有り		円	無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓口	担当部署	担当者
TEL		Email:
産連HP		
シーズDB		

## 大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針

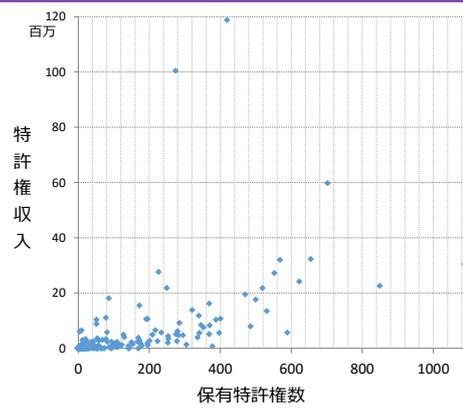
## 産学官連携活動について今後重点化したい事項

<p>研究者数 _____ 人    実用化数 _____ 件</p>	<p><b>産学連携担当部署</b></p> <p>実務担当者 名 _____</p> <p>実務者あたり研究者数 _____ 名</p> <p>専門性を有する者の配置  <small>弁護士   弁理士   税理士   公認会計士   その他</small></p>	<p><b>URA</b></p> <p>実務担当者 名 _____</p> <p>URAあたり研究者数 _____ 名</p> <p>URA職務従事状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>プレアワード</td><td>名 _____</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>名 _____</td></tr> <tr><td>及びポストアワード</td><td>名 _____</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>名 _____</td></tr> <tr><td>ポストアワード</td><td>名 _____</td></tr> <tr><td>及び研究戦略推進支援</td><td>名 _____</td></tr> <tr><td>研究戦略推進支援</td><td>名 _____</td></tr> </table>	プレアワード	名 _____	及び研究戦略推進支援	名 _____	及びポストアワード	名 _____	及び研究戦略推進支援	名 _____	ポストアワード	名 _____	及び研究戦略推進支援	名 _____	研究戦略推進支援	名 _____	<p><b>コーディネーター(CDN)</b></p> <p>実務担当者 名 _____</p> <p>CDNあたり研究者数 _____ 名</p> <p>コーディネーター職務従事状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>知財創生 (発明相談、特許出願等)</td><td>名 _____</td></tr> <tr><td>研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)</td><td>名 _____</td></tr> <tr><td>シーズPR (イベント出展、企業訪問等)</td><td>名 _____</td></tr> <tr><td>技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)</td><td>名 _____</td></tr> <tr><td>ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)</td><td>名 _____</td></tr> <tr><td>事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)</td><td>名 _____</td></tr> </table>	知財創生 (発明相談、特許出願等)	名 _____	研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	名 _____	シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	名 _____	技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	名 _____	ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	名 _____	事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	名 _____				
プレアワード	名 _____																																
及び研究戦略推進支援	名 _____																																
及びポストアワード	名 _____																																
及び研究戦略推進支援	名 _____																																
ポストアワード	名 _____																																
及び研究戦略推進支援	名 _____																																
研究戦略推進支援	名 _____																																
知財創生 (発明相談、特許出願等)	名 _____																																
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	名 _____																																
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	名 _____																																
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	名 _____																																
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	名 _____																																
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	名 _____																																
<p><b>各種規程類の整備状況</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>産学連携ポリシー</td><td></td></tr> <tr><td>知的財産ポリシー</td><td></td></tr> <tr><td>共同研究取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>受託研究取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>研究成果有体物取扱規程</td><td></td></tr> <tr><td>職務発明規程 (教職員のみ対象)</td><td></td></tr> <tr><td>発明補償関係規程 (教職員、学生)</td><td></td></tr> <tr><td>守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)</td><td></td></tr> <tr><td>守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)</td><td></td></tr> <tr><td>営業秘密管理に関する規程</td><td></td></tr> <tr><td>株式の取扱等規程、ポリシー</td><td></td></tr> </table>				産学連携ポリシー		知的財産ポリシー		共同研究取扱規程		受託研究取扱規程		研究成果有体物取扱規程		職務発明規程 (教職員のみ対象)		発明補償関係規程 (教職員、学生)		守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)		守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)		営業秘密管理に関する規程		株式の取扱等規程、ポリシー									
産学連携ポリシー																																	
知的財産ポリシー																																	
共同研究取扱規程																																	
受託研究取扱規程																																	
研究成果有体物取扱規程																																	
職務発明規程 (教職員のみ対象)																																	
発明補償関係規程 (教職員、学生)																																	
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)																																	
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)																																	
営業秘密管理に関する規程																																	
株式の取扱等規程、ポリシー																																	
<p><b>産学連携業務分担</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">担当部署等</th><th>産連本部</th><th>他部署</th><th>外部委託</th></tr> <tr><td colspan="2">共同研究等の企画・提案</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">契約書での成果目標、達成時の明記</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">共同研究の進捗管理とフィードバック</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				担当部署等		産連本部	他部署	外部委託	共同研究等の企画・提案					契約書での成果目標、達成時の明記					共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)					共同研究の進捗管理とフィードバック					企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案				
担当部署等		産連本部	他部署	外部委託																													
共同研究等の企画・提案																																	
契約書での成果目標、達成時の明記																																	
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)																																	
共同研究の進捗管理とフィードバック																																	
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案																																	



**2016年度特許出願・活用実績**

特許出願件数	0	研究者あたり件数
特許保有件数	1	
特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利		
2016年度に有償契約した権利		
特許権実施等収入 (千円)	0	



**本格的な共同研究**

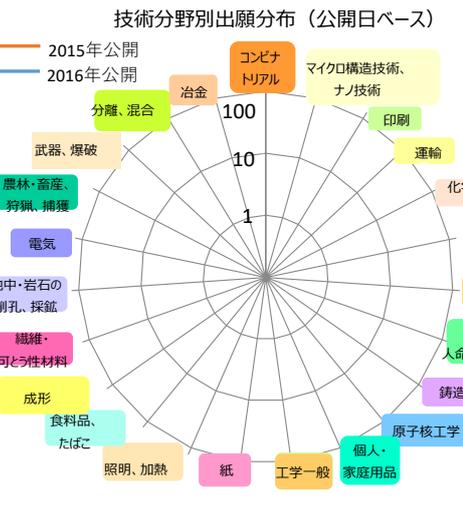
平均(目安)交渉期間 \_\_\_\_\_ 件

分野横断型共同研究 \_\_\_\_\_ 件

大学役員等と定期的 に意見交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	_____ 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

**特許出願に関する発明のもととなった研究**

		共同研究	受託研究	補助金	寄附金
件数	(参考値)				
総出願数に対する割合					
受入額比	千円/件				



**出願数上位技術分野 (2016年公開)**

順位	IPC	分野	件数

**大学の得意分野とその具体例**

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローバ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローバ規定

有り	無し
企業とのクローバ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例



運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
	19	25,350					10%以上15%未満

職務発明の帰属

大学	発明者
----	-----

不実施補償の扱い

契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他
------------	-----------------	---------------	-----

クローブ実績

受入	大学	
	企業	
派遣	大学	
	企業	

クローブ規定

有り	無し
企業とのクローブ	
可能	不可

大学発  
ベンチャー数  
社

ベンチャー支援体制

相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド	
有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し

産学連携へのインセンティブ

人事評価等への反映
インセンティブ設計無し

人

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

窓	担当部署	聖徳大学生涯学習社会貢献センター	担当者	本田宗治
口	TEL	0473651111	Email:	chizai@seitoku.ac.jp
	産連HP	http://www.seitoku.ac.jp/chizai/sangaku/		
	シーズDB			

大学全体の経営理念における産学官連携活動の取組方針  
地域社会の発展と人材の育成に寄与する

産学官連携活動について今後重点化したい事項  
教育、保育、栄養、心理、福祉、看護、音楽等

研究者数 324 人  
実用化数 \_\_\_\_\_ 件

産学連携担当部署  
実務担当者 4 名  
実務者あたり研究者数 81 名  
専門性を有する者の配置  
弁護士 | 弁理士 | 税理士 | 公認会計士 | その他

URA  
実務担当者 4 名  
URAあたり研究者数 81 名

コーディネーター(CDN)  
実務担当者 0 名  
CDNあたり研究者数 \_\_\_\_\_ 名

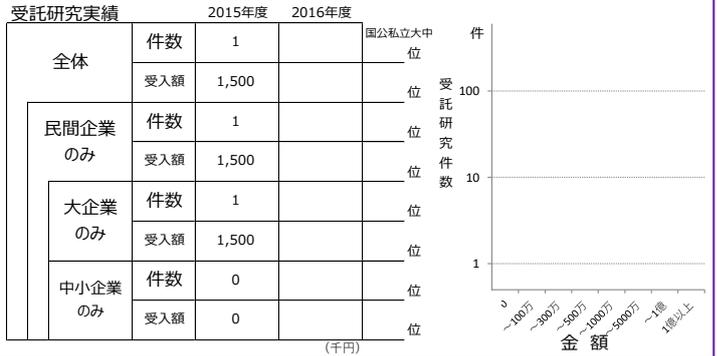
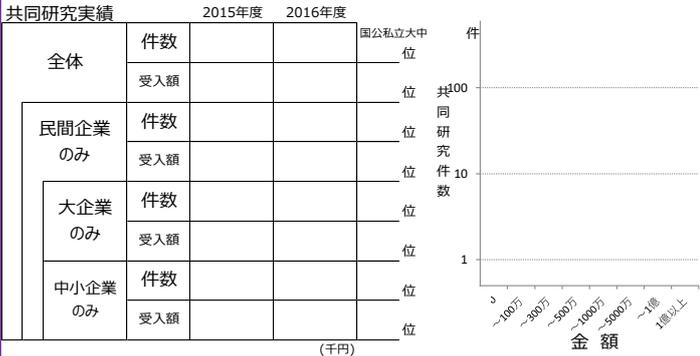
各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー
知的財産ポリシー
共同研究取扱規程
受託研究取扱規程
研究成果有体物取扱規程
職務発明規程 (教職員のみ対象)
発明補償関係規程 (教職員、学生)
守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
守秘義務に関する規程 (教職員、学生対象)
営業秘密管理に関する規程
株式の取扱等規程、ポリシー

産学連携業務分担	担当部署等		
	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに応じた技術移転・事業化提案			

URA職務従事状況	
プレアワード	_____ 名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
及びポストアワード	_____ 名
及び研究戦略推進支援	_____ 名
ポストアワード	_____ 名
及び研究戦略推進支援	4 名
研究戦略推進支援	_____ 名

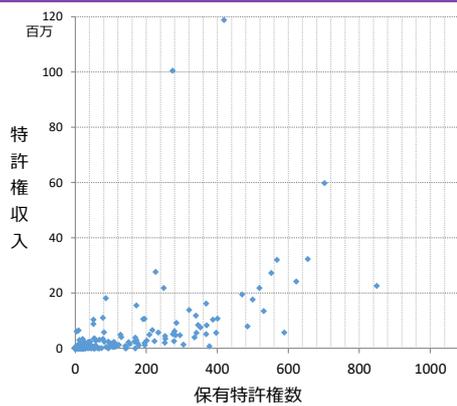
コーディネーター職務従事状況	
知財衛生 (発明相談、特許出願等)	_____ 名
研究開発支援 (研究開発戦略構築、補助金申請支援等)	_____ 名
シーズPR (イベント出展、企業訪問等)	_____ 名
技術契約支援 (共研/ライセンス契約、守秘義務等)	_____ 名
ニーズ調査 (企業訪問、市場動向分析)	_____ 名
事業化支援 (ベンチャー起業化支援、販路開拓)	_____ 名



2016年度特許出願・活用実績

特許出願件数	1	研究者あたり件数 0.003
特許保有件数	0	0.000

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
2016年度に収入のあった権利	_____	_____
2016年度に有償契約した権利	_____	_____
特許権実施等収入 (千円)	0	_____



本格的な共同研究

平均(目安)交渉期間 \_\_\_\_\_ 日

分野横断型共同研究 2 件

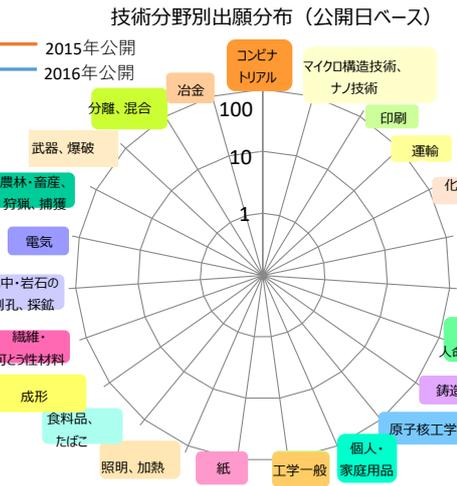
大学役員等と定期的に見え交換する企業数	_____ 件
うち共同研究した企業	_____ 件
産学連携本部が関与した共同研究	0 件
マッチングを行い、契約締結した件数	_____ 件

特許出願に関する発明のもととなった研究

件数	共同研究	受託研究	補助金	寄附金
_____	_____	_____	_____	_____

出願数上位技術分野 (2016年公開)

順位	IPC	分野	件数
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____



大学の得意分野とその具体例

地域企業等との商品開発 (メロンパン、デニッシュ、マッシュルーム弁当、まんじゅう等)、食育かるた

運営費交付金 (千円)	科研費		その他政府系 資金(千円)	民間資金 (千円)	株式保有	ストック オプション	間接経費割合
	件数	金額(千円)					
							30%以上

職務発明の帰属		不実施補償の扱い				クロアボ実績		クロアボ規定	
大学	発明者	契約雛形の条項に従う	不実施補償を求めない場合がある	原則、不実施補償は求めない	その他	受入	大学	有り	無し
						企業			

大学発 ベンチャー数  社	ベンチャー支援体制								産学連携へのインセンティブ		派遣 大学 企業	企業とのクロアボ	
	相談窓口		設立ポリシー、 推進計画		インキュベーション施設		支援ファンド		人事評価等への反映			可能	不可
	有り	無し	有り	無し	有り	件 無し	有り	円 無し	インセンティブ設計無し				

組織的産学官連携活動における取組方針等及び取組事例

